MITSUBISHI

三菱 DLP® プロジェクター

形名

LVP-XD600/LVP-WD620

取扱説明書

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

DATA
PROJECTOR

はじめに
映像を見る
設定・調整する
その他

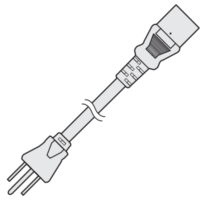
このたびは三菱 DLP® プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

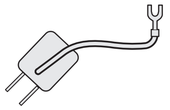
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

■ 電源関係

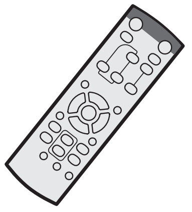


電源コード

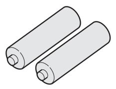


変換アダプタ

■ リモコン関係

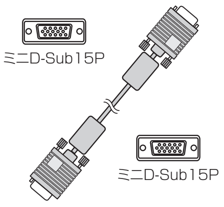


リモコン



単三乾電池(2本)

■ 映像関係



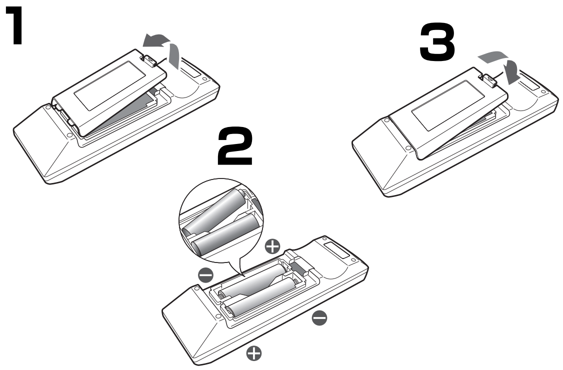
RGB信号ケーブル

■ その他

- ･レンズキャップ
- ･ランプ交換用アタッチメント
- ･CD-ROM
- ･取扱説明書／クイックスタートアップ
- ･保証書
- ･三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
- ･ソフトキャリングケース

● 付属の電源コード、変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる



1　リモコン裏面のフタをはずす

2　乾電池の(＋)、(－)をよく確かめて、(－)側から正しく入れる

● 乾電池を(＋)側から入れると、(─)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。

3　裏面のフタを付ける

● 乾電池は、単三乾電池(AA、R6)を 2 本お使いください。
● リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠注意

● 電池は、8ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります(電池に表示されている注意事項もお読みください)。
● このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
● 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
● J55022 クラス B 装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属の RGB 信号ケーブルとシールドされた LAN ケーブルをご使用ください。
● 本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください 5～8
各部のなまえ 9、10
本体のなまえ 9、10
リモコンのなまえ 10
リモコンの使いかた 11

映像を見る

コンピュータの映像を見る 12～18
A. コンピュータと接続する 12
B. 電源コードを差し込む 13
C. 投写する 13～18
プレゼンテーションを演出する 19～20
映像と音声を一時的に消す (AV ミュート) 19
画面を拡大して見る (MAGNIFY) 19
起動時およびミュート時などの画面を変更する 20
ビデオ機器の映像を見る 21～24
A. ビデオ機器と接続する 21
B. 電源コードを差し込む 22
C. 投写する 22～24

設定・調整する

メニューを使って設定する 25～33
クイックメニュー 25
クイックメニューの設定のしかた 25
クイックメニューを消すときは 25
クイックメニューで設定できること 26
詳細メニュー 27
詳細メニューの設定のしかた 28
詳細メニューを消すときは 28
詳細メニューで設定できること 29～33
映像を調整する 34、35
映像の明るさを調整する (コントラスト、ブライト) 34
白の色合いを調整する (色温度の詳細設定) 34
色を調整する (色の濃さ、色合い) 34
映像をくっきりさせたり、ソフトにする (シャープネス) 34
スクリーン (壁色) に合わせた色の調整をする 34
独自の明るさと色合いを設定する (カラーエンハンサーの詳細説明) 35
コンピュータ映像の調整 35
ネットワークを設定する 36～38
プロジェクター名を設定する 36
ネットワークパスワードを変更する 36
IP を設定する 37
DHCP の設定・解除をする 37
IP アドレスを設定する 37
サブネットマスクを設定する 37
デフォルト・ゲートウェイを設定する 38
PJLink 認証の設定・解除をする 38
ネットワーク設定を初期化する 38

もくじ（つづき）

その他

パスワードを設定する	39
コンピュータによる監視と制御	40
設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた	41
光源ランプを交換する	42 ～ 44
故障かなと思ったら	45 ～ 47
索引	48
端子について	48
仕様	49、50
別売品	49
接続できる信号の種類	50
保証とアフターサービス	51
インジケーターの見かた	裏表紙

著作権について

- DLP® (Digital Light Processing®)、DMD、BrilliantColor™ は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Pentium は、インテルコーポレーションまたはその子会社の米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本書に記載のメーカ名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能（24 ページ）を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え（16:9）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

⚠警告

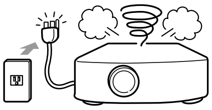
故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

プラグを抜く

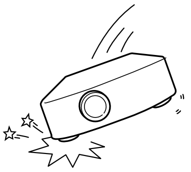
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

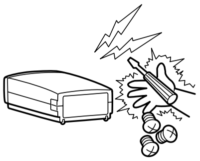


使用禁止

火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

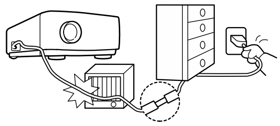


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードを傷つけない

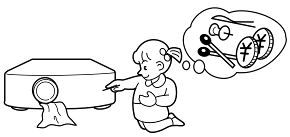
- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

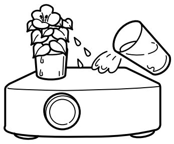
内部に異物を入れない



禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



禁止

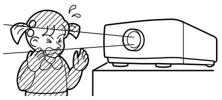
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠警告

次のようなことはしない(つづき)

レンズをのぞかない



禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

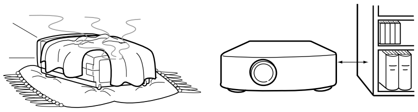
使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

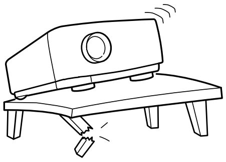
雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

次のような場所に置かない

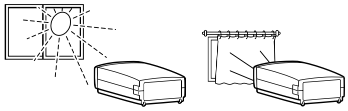
不安定な場所には置かない



禁止

(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

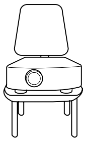
直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



禁止

火災や故障の原因となります。

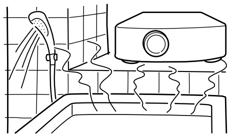
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

風呂場では使わない

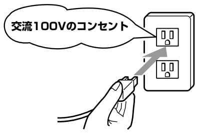


水場での使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない

禁止

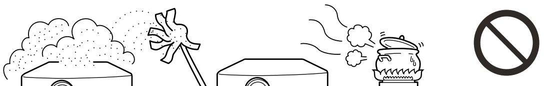
ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

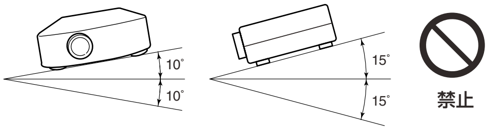
次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所

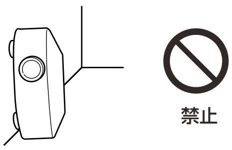


傾けた状態で動作させない



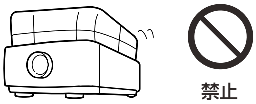
傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。
左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

立てた状態で置かない



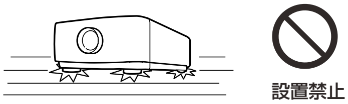
倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない



本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ワックスのかかった床に直接置かない



床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

電源コード・プラグについて

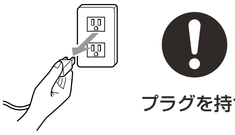
接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

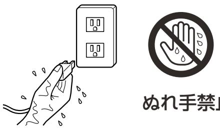
ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

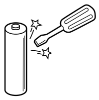
⚠注意

乾電池の取り扱いについて

新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

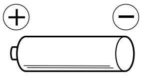
禁止

分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。



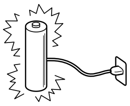
禁止

プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる。



正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



禁止

- 乾電池は、(−)側から入れてください。
  乾電池を(+)側から入れると、(−)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

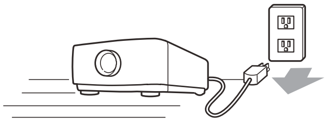
その他

1年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ(待機状態)にします。**約1分間**待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約1分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

海抜1500m以上での使用は避ける

海抜1500m以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。

注意

このデータプロジェクターは日本国内専用です

電源電圧の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

日本専用

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

接触禁止

天吊り時のランプ交換は、ランプユニット交換用アタッチメントを使用してください

ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。

注意

結露した状態で使用しない

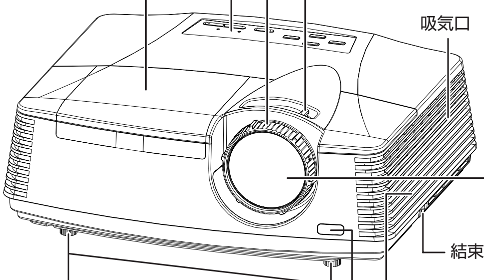
結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。

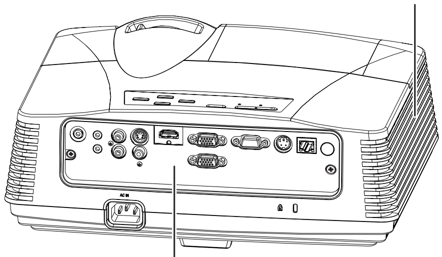
禁止

各部のなまえ

本体のなまえ（◯は参照ページ）

本体





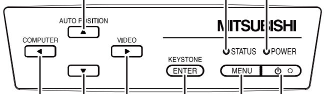
⚠注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。
さわるとやけどの原因となります。

ソフトキャリングケース収納時

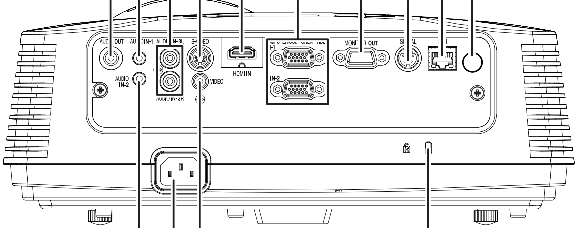
本機をソフトキャリングケースに収納する際は、レンズ側を上にして入れてください。また、レンズを守るため、フォーカスリングとズームリングを回してレンズが一番短くなる状態にして収納してください。

操作パネル（天面）



● COMPUTER、VIDEO、AUTO　POSITIONボタンは、メニュー表示中、台形補正表示中、パスワード入力中にはそれぞれ、◀、▶、▲ボタンとしてはたらきます。

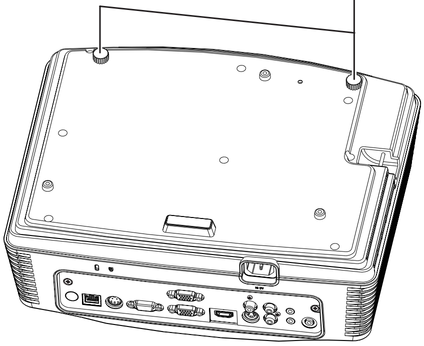
端子パネル部



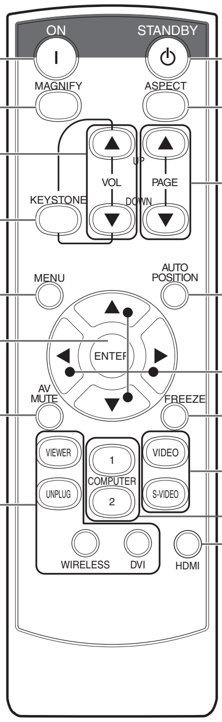
※ 1チェーン等で結束できます。
※ 2コンピュータで本機を制御するときに使用します。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターに相談ください。

各部のなまえ(つづき)

底面部



リモコンのなまえ (○は参照ページ)

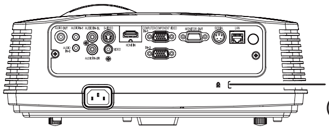


● COMPUTER(1、2)と VIDEO、S-VIDEOボタンはメニュー表示中は機能しません。

ケンジントンロック(盗難防止用ロック)について

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下の通りです。

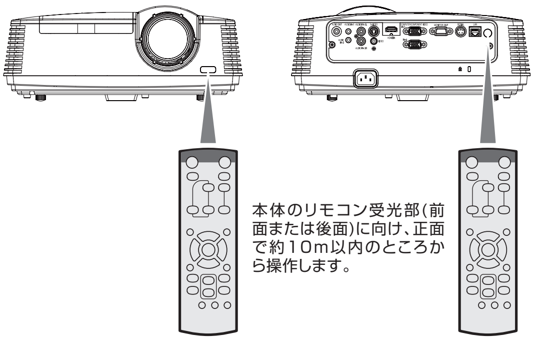
日本ポラデジタル株式会社
104-0032 東京都中央区八丁堀 1 丁目 5 番 2 号 はごろもビル
TEL:03-3537-1070
FAX : 03-3537-1071



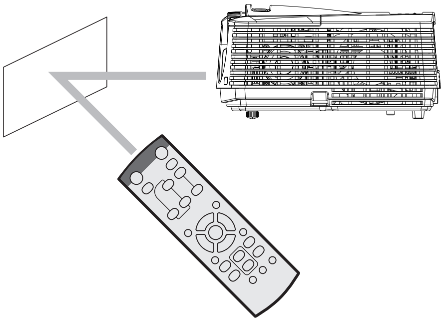
リモコンの使いかた

ワイヤレスリモコンとして使う

本体前面　　本体後面



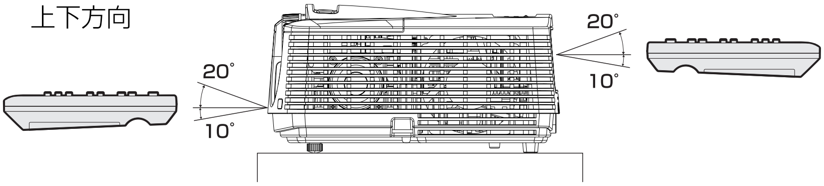
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。



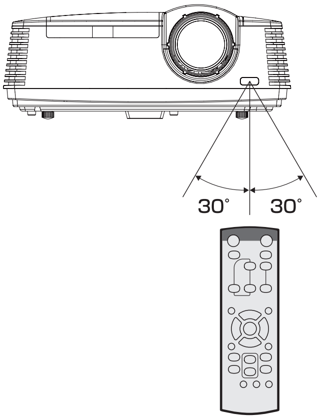
- スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンを通して本機までの合わせた距離が約5m以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

操作範囲

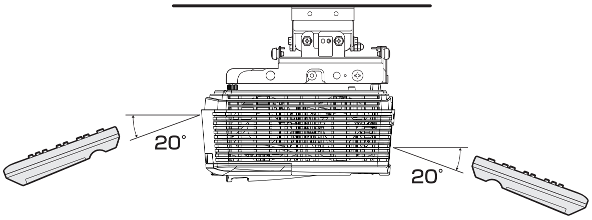
上下方向



左右方向



上下方向（天吊り時）



コンピュータの映像を見る

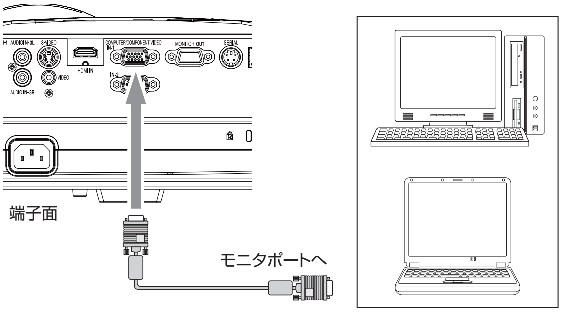
A. コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、詳しくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニタに接続されている RGB 信号ケーブルをはずす

アナログ RGB(ミニ D-Sub15 ピン)端子付きコンピュータと接続する

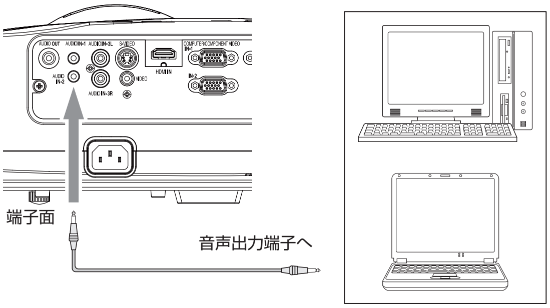


1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN端子(1または2)に接続する

2 コンピュータのモニタポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する

- 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。
- 本機のCOMPUTER IN-1端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機の電源コードを差し込んでからコンピュータを起動してください。

コンピュータの音声をプロジェクターから出力する

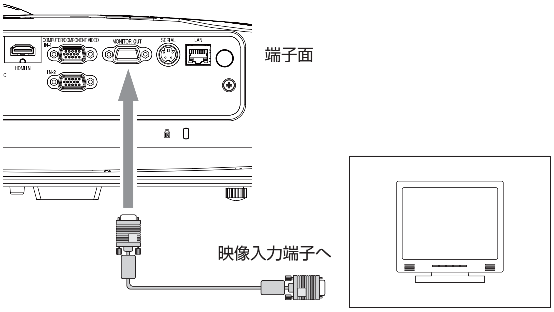


1 PC音声ケーブル (市販) を本機のAUDIO IN端子(1または2)に接続する

2 PC 音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです(ただし、スピーカー出力はモノラルになります)。接続するコンピュータの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
  モノラル音声を入力した場合、スピーカーの音量レベルが約半分になります。
- 本機の音声入力は、コンピュータや DVD プレーヤなどのライン出力に対応しています。マイクを接続する場合は、アンプ内蔵のものか、外付けのマイクアンプをご使用ください。

プロジェクターの投写映像をモニタで見る(デスクトップのみ)



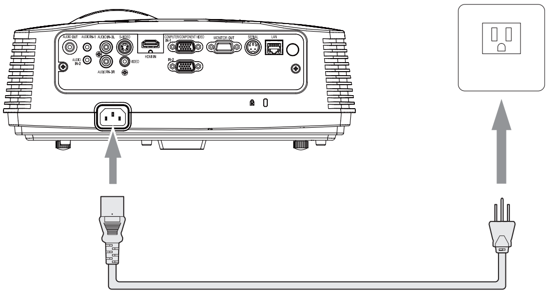
1 モニタに接続されているRGB信号ケーブルを本機のMONITOR OUT端子に接続する

- 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
- 入力信号によっては、接続されているモニタに正常に映像が映らないことがあります。
  接続されているモニタの取扱説明書をご確認ください。
- COMPUTER IN-1またはCOMPUTER IN-2に入力している信号が出力されます。
- COMPUTER IN-1とCOMPUTER IN-2の両方に信号が入力されている場合は、プロジェクター本体で現在または最後に選択した方が出力されます。
- スタンバイ時にはMONITOR OUTは出力されません。

B. 電源コードを差し込む

- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。
- 万一、本機が故障した場合においても安全性が確保できるように、漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。漏電ブレーカーを備えたコンセントがない場合は、工事を販売店にご依頼ください。

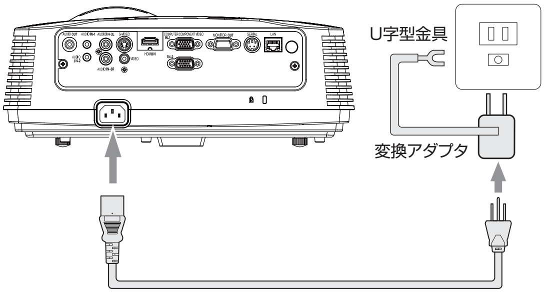
電源コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける

3 変換アダプタの U 字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。

4 変換アダプタを電源コンセントに差し込む

- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
- 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

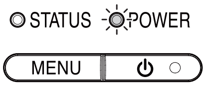
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる

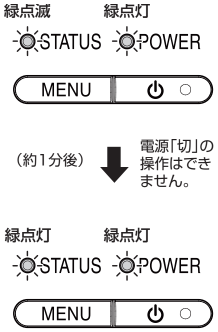
電源を入れる

1 POWER インジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す

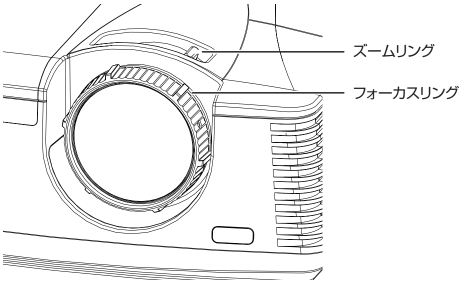


- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのON ボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れたとき、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。

コンピュータの映像を見る（つづき）

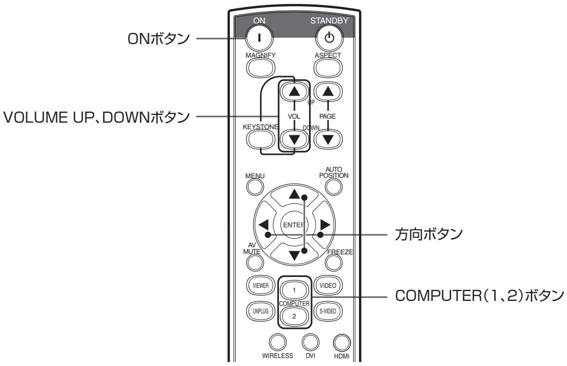
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンの COMPUTER（1 または 2）ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す



- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに入力が「COMPUTER 1」→「COMPUTER 2」→「HDMI」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。詳しくは17ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、右の表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください（17ページ参照）。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

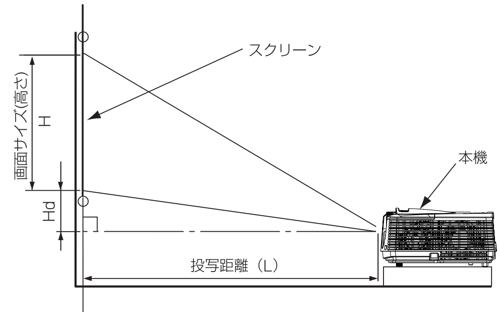
必要に応じて、操作 3 ～ 7 の設定は微調整してください。

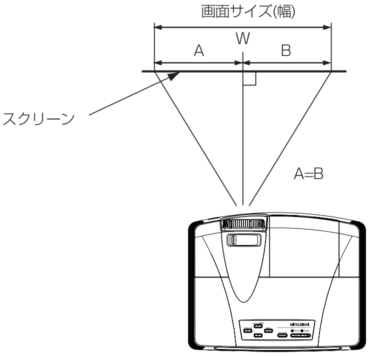
- 設置する場所については、あらかじめ5～8ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。詳しくは41ページをご覧ください。

● LVP-XD600 の設置

画面サイズ			投写距離 :L		高さ :Hd (cm)
(形)	幅 :W (cm)	高さ :H (cm)	最短 (m)	最長 (m)	
40	81	61	1.1	1.7	9
60	122	91	1.7	2.6	14
80	163	122	2.3	3.5	18
100	203	152	2.9	4.3	23
150	305	229	4.4	6.5	34
200	406	305	5.9	8.7	46
250	508	381	7.3	10.9	57
300	610	457	8.8	—	69

- 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。





スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

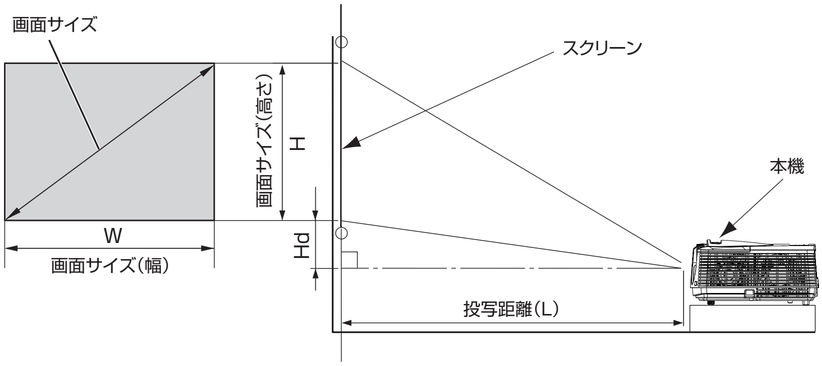
スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。

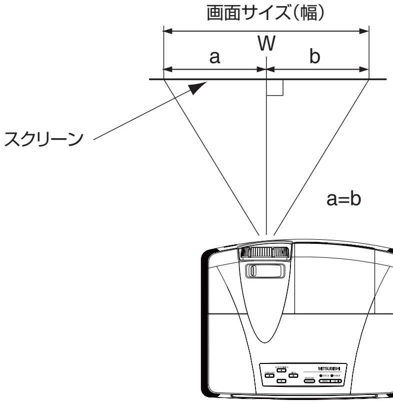
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。（14、23ページ参照）

● LVP-WD620 の設置

画面サイズ			投射距離：L		高さ：Hd (cm)
(形)	幅 :W（cm）	高さ :H（cm）	最短（m）	最長（m）	
40	86	54	1.2	1.8	16
60	129	81	1.9	2.8	23
80	172	108	2.5	3.7	31
100	215	135	3.1	4.7	39
150	323	202	4.7	7.0	59
200	431	269	6.3	9.4	78
250	538	337	7.9	11.8	98
300	646	404	9.5	―	117

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

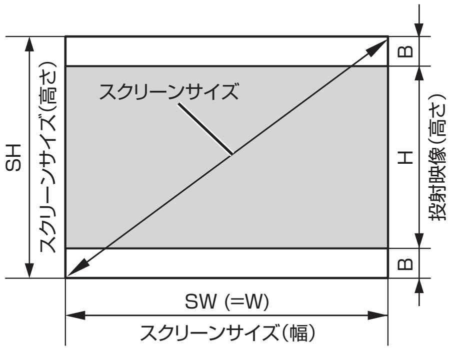




コンピュータの映像を見る（つづき）

スクリーンサイズが 4:3 のとき

スクリーンサイズが4:3のとき、映像とスクリーンの位置関係は右図で示されます。設置のため、以下の表を参考にしてください。



映像のアスペクト比が16：10(WXGA)のとき

スクリーンサイズ（4：3）			投写映像サイズ（16：10）					投射距離：L	
(形)	幅 :SW (cm)	高さ :SH (cm)	(形)	幅 :W (cm)	高さ :H (cm)	B (cm)	高さ :Hd (cm)	最短 (m)	最長 (m)
40	81	61	38	81	51	5	15	1.1	1.7
60	122	91	57	122	76	8	22	1.7	2.6
80	163	122	75	163	102	10	30	2.3	3.5
100	203	152	94	203	127	13	37	2.9	4.4
150	305	229	142	305	191	19	55	4.4	6.6
200	406	305	189	406	254	25	74	5.9	8.9
250	508	381	236	508	318	32	92	7.4	11.1
300	610	457	283	610	381	38	111	8.9	−

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

映像のアスペクト比が16：9のとき

スクリーンサイズ（4：3）			投写映像サイズ（16：9）					投射距離：L	
(形)	幅 :SW (cm)	高さ :SH (cm)	(形)	幅 :W (cm)	高さ :H (cm)	B (cm)	高さ :Hd (cm)	最短 (m)	最長 (m)
40	81	61	37	81	46	8	17	1.1	1.7
60	122	91	55	122	69	11	26	1.7	2.6
80	163	122	73	163	91	15	35	2.3	3.4
100	203	152	92	203	114	19	43	2.9	4.3
150	305	229	138	305	171	29	65	4.3	6.5
200	406	305	184	406	229	38	86	5.8	8.6
250	508	381	229	508	286	48	108	7.2	10.8
300	610	457	275	610	343	57	130	8.7	−

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。(14、23ページ参照)

音量を調整する

8 VOLUME (▲ UPまたは▼ DOWN) ボタンを押して音量を調整する

● メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンを押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。

● この状態を解除するには、本体の電源ボタン (⏻) またはリモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。またはボタンを押さなくても、10秒後にメッセージは消えます。

10 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

● 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸／排気ファンによる冷却が必要です。
● STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

12 電源プラグをコンセントから抜く

● POWERインジケーターが消灯します。
● 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピュータと接続しているケーブルを外します。

ダイレクトパワーオフ

本機の電源を切ったあと、すぐに電源コードを抜くことができます。吸／排気ファンが完全に動かなくなるまで待つ必要はありません。

ダイレクトパワーオフを行う場合は、次の3つの事がらに注意して行ってください。

● ランプ点灯後、STATUSインジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
● ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
● ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
● ネットワーク機能を使用してプロジェクターを制御している状態で電源を切ると、ProjectorViewなどのアプリケーションソフトが働かなくなります。詳しくは、CD-ROMの中の「LAN制御UTILITY操作説明書」をご覧ください。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

● 外部出力させる操作の例
「Fn」キー+「F1」〜「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

AUTO POSITION ボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1. できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
3. AUTO POSITIONボタンを押す。
入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

● 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、詳細設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(35ページ参照)。

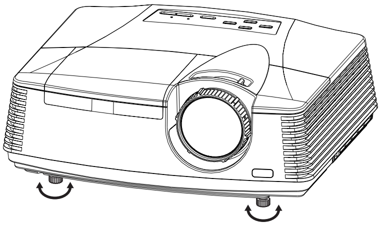
角度調整脚で投写角度を調整する

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

1 本体の前部を投写させたい角度まで持ち上げる

● 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大6°になります)。

2 角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように調整する



映像を見る

コンピュータの映像を見る

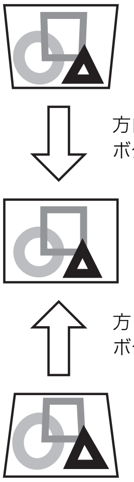
コンピュータの映像を見る（つづき）

画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になってしまいます。

本機は、設置メニューの自動台形補正をONにしておくと、垂直方向の台形ひずみを自動的に補正する機能を持っています。

本機およびスクリーンを調整しても直角にならないときは、自動台形補正をOFFにして手動で補正をしてください。本体またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示し、本体の▲、▼ボタンまたはリモコンのVOLUME▲、▼ボタン、方向▲、▼ボタンを押して画像を調整します。



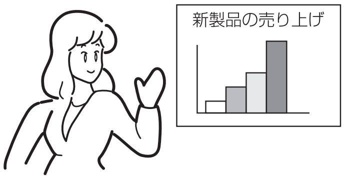
- 自動台形ひずみ補正は、周囲温度やプロジェクターとスクリーンの設置条件により正しく補正できないことがあります。そのような場合は、手動で補正してください。
- プロジェクターが乗り物や航空機など移動しているものの中で画像を映しているときは、自動台形ひずみ補正が正しく機能しないことがあります。このような場合は、設置メニューの自動台形補正をOFFにして、手動で補正してください。
- 垂直方向の台形ひずみは自動補正できますが、補正範囲には限度があります。
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 台形補正の調整値の範囲は、設置状態や入力信号、アスペクト比の設定によって異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。

プレゼンテーションを演出する

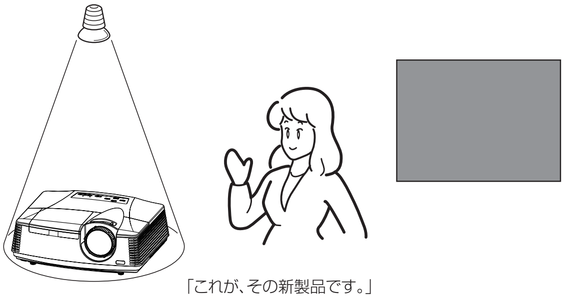
プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します。

映像と音声を一時的に消す (AV ミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフの通りです。」



「これが、その新製品です。」

操作のしかた

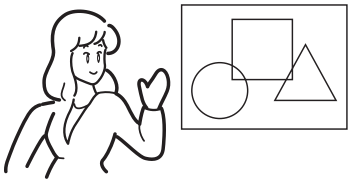
1 リモコンのAV MUTEボタンを押す

映像が真っ暗になり、音声が消えます。

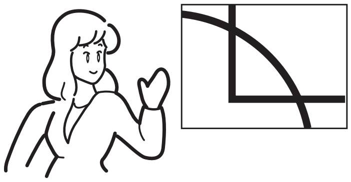
- もう一度AV MUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。

画面を拡大して見る (MAGNIFY)

本機は画面拡大機能により、画面の一部を拡大して見ることができます。



「少しわかりにくいので拡大してみます。」



「この丸と四角の交点にご注目ください。」

表示のしかた

1 リモコンのMAGNIFYボタンを押す

- 画面拡大表示になります。
- もう一度MAGNIFYボタンを押すと、通常画面に戻ります。

拡大率を変更するときは

1 リモコンのVOLUME(▲UPまたは▼DOWN)ボタンを押す

- ▲ボタンを押すと拡大率が大きく、▼ボタンを押すと小さくなります。

拡大させる範囲を変更するときは

1 方向ボタン(▲、▼、◀、▶)を押す

- 画面拡大表示中は、音量調整はできません。
- 画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。
- 画面拡大表示は、COMPUTER IN端子(1と2)からの映像を表示しているときのみはたらきます。HDMI端子、VIDEO端子またはS-VIDEO端子からの映像を表示しているときははたらきません。
- 入力信号によっては、MAGNIFYがはたらかない場合があります。
- 対応信号については50ページをご覧ください。

プレゼンテーションを演出する(つづき)

起動時およびミュート時などの画面を変更する

本機は起動画面(スプラッシュスクリーン)の画面を任意の映像に変更することができます。また、変更した画面は、メニュー設定により、ミュート時や無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

設定のしかた

メニュー設定のしかたについては、28ページをご覧ください。

1 コンピュータの映像を表示させる

(コンピュータの映像の表示のしかたについては、12～18ページをご覧ください。)

2 登録する映像を表示させる

3 設置メニューを表示させる

4 ▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

- 取り込みが開始されると、取り込んだ画像が表示されます。
- 一度ENTERを押すと、取り込みが完了するまで他の操作ができなくなります。
- 取り込む画面がXGAより低い解像度の場合、XGAに拡大処理してから表示します。
- 取り込む画面がXGAより高い解像度の場合、XGAの領域が切り出されます。

- 起動画面は元に戻せません。(オプションメニューのRESET ALLの操作をしても工場出荷時の画面には戻りません。)起動画面を変更したいときは、別の画像を取り込んでください。
- ENTER を押した時点で、それまでに取り込んだ画像を消去いたします。誤ってENTERキーを押してしまった場合、再度同じ画像を取り込んでください。
- 次の起動時より、取り込んだ画像が表示されます。表示されないときは、設置メニューのスプラッシュスクリーンの設定が「OFF」になっていないか、確認してください。(30ページ参照)
- 取り込んだ画像をミュート時に表示させたいときは、設置メニューのAV ミュートモードの設定を「IMAGE」にしてください。(30ページ参照)
- 設定メニューのバックカラーの設定を「IMAGE」にしておくと無信号時の画面が取り込んだ画像になります。
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。

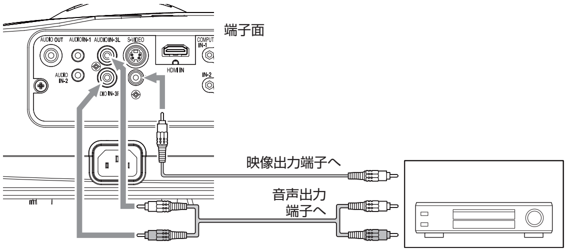
ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、詳しくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



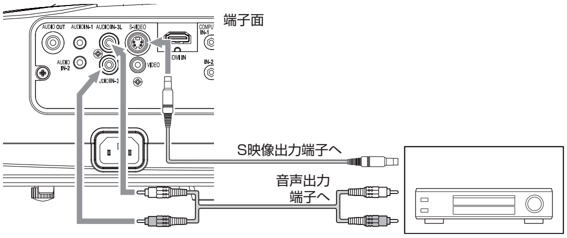
1 本機のVIDEO端子に市販のビデオケーブルの黄色のプラグを接続する

2 ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する

3 本機のAUDIO IN-3 端子に市販のオーディオケーブルのプラグ白色を(L)に赤色を(R)に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方のプラグ白色を(L)に赤色を(R)に接続する

S 映像出力端子付きビデオ機器と接続する



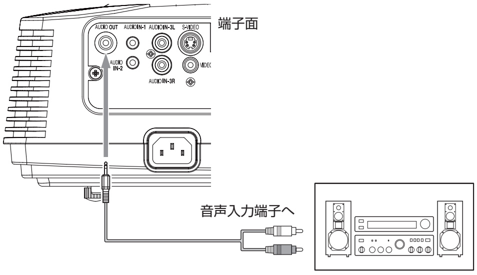
1 本機のS-VIDEO端子に市販のSビデオケーブルを接続する

2 ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する

3 本機のAUDIO IN-3 端子に市販のオーディオケーブルのプラグ白色を(L)に赤色を(R)に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方のプラグ白色を(L)に赤色を(R)に接続する

外部スピーカーからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



1 市販のオーディオ (音声) ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する

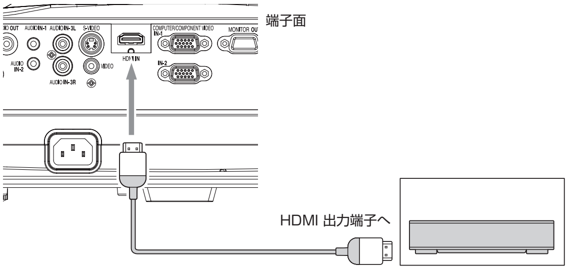
- このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。

2 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子にオーディオ(音声)ケーブルのもう一方を接続する

AUDIO OUT端子からの音声について

- AV MUTEボタンを押すと音声が消えます。
- VOLUME(▲または▼)ボタンを押すと音量が変わります。

HDMI 出力端子付きビデオ機器と接続する



1 本機のHDMI IN端子に市販のHDMIケーブルを接続する

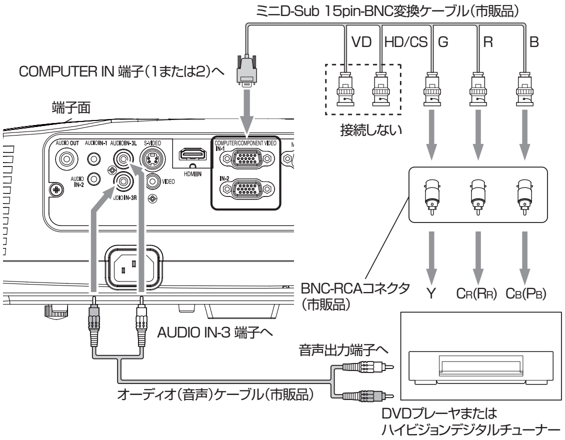
2 ビデオ機器の HDMI 出力端子に HDMI ケーブルのもう一方を接続する

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴが付いていてカテゴリー2 対応のものをお買い求めください。
- HDMI ケーブルには音声信号も含まれていますので、音声接続を別途する必要はありません。
- HDMI 音声が出力されないときは、本機とビデオ機器を接続している状態でビデオ機器の電源を一度切り、電源を入れ直すと出力されるようになります。

ビデオ機器の映像を見る（つづき）

DVD プレーヤまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤ、またはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER IN端子（1または2）に接続します。



- 接続はミニD-Sub 15pin-BNC変換ケーブルをご使用ください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。
- オーディオ（音声）ケーブルは、ピンプラグのケーブルを使います。
- DVDプレーヤ、およびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R, G, B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

B. 電源コードを差し込む

「コンピュータの映像を見る」と同じです。13ページをご覧ください。

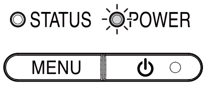
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

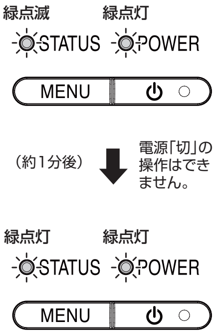
電源を入れる

1 POWER インジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

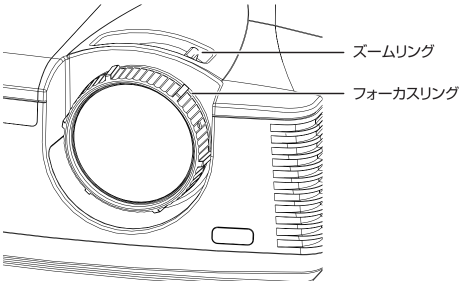
2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押したあと、または、ランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れたとき、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。

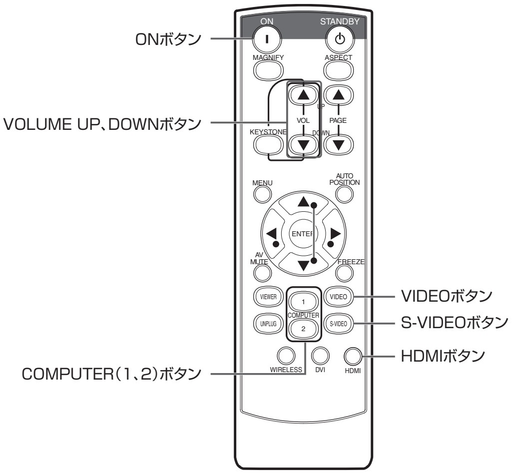
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンの VIDEO、S-VIDEO または HDMI ボタン、または本体のVIDEOボタンを押す



- 本体のVIDEOボタンを押すごとに入力が「VIDEO」→「S-VIDEO」と切り換わります。
- COMPUTER IN 端子に接続しているDVDプレーヤやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTER(1または2)ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、14 ～ 16 ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(17ページ参照)。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

必要に応じて、操作 3 ～ 7 の設定は微調整してください。

音量を調整する

8 VOLUME(▲ UP または ▼ DOWN)ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンを押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。またはボタンを押さなくても、10秒後にメッセージは消えます。

10 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸／排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、ビデオ機器と接続しているケーブルを外します。

ダイレクトパワーオフ

本機の電源を切ったあと、すぐに電源コードを抜くことができます。吸／排気ファンが完全に動かなくなるまで待つ必要はありません。

ダイレクトパワーオフを行う場合は、次の3つの事がらに注意して行ってください。

- ランプ点灯後、STATUSインジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を使用してプロジェクターを制御している状態で電源を切ると、ProjectorViewなどのアプリケーションソフトが働かなくなります。詳しくは、CD-ROMの中の「LAN制御UTILITY操作説明書」をご覧ください。

ビデオ機器の映像を見る(つづき)

静止画について

リモコンのFREEZEボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中にFREEZEボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります(一部、もどらないボタンもあります)。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

ASPECT ボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときにASPECTボタンを押すとアスペクト比が切り換わります。

- ASPECTボタンを押すごとに、「NORMAL」→「16：9」→「FULL」→「NORMAL」と切り換わります。
- オプションメニューの画角で16：9を選択すると、表示位置の選択ができます。
- 長時間16：9画面で使用したあと、4:3表示で使用しますと、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。(31ページ参照)。

メニューを使って設定する

メニュー表示は２種類あり、リモコンのMENUボタンを押すと下記の「クイックメニュー」がスクリーンに表示されます。さらに、クイックメニューの中の「詳細メニュー」を選んでENTERボタンを押すと、27ページの「詳細メニュー」が表示されます。

● クイックメニューと詳細メニューの内容で同じものは機能も同じです。
● クイックメニューまたは詳細メニューを終了するには、メニュー表示中にMENUボタンを押します。

クイックメニュー

- クイックメニュー
  - カラーエンハンサー
    - AUTO
    - プレゼンテーション
    - 標準
    - シアター
    - USER
  - コントラスト
    - ±30
  - ブライト
    - ±30
  - 色温度
    - 標準
    - 低
    - 高
    - USER
  - シャープネス *1
    - ±5
  - ランプモード
    - 標準、低
  - 画角
    - NORMAL, 16:9, FULL
  - ユーザーメニュー
  - ユーザーメニュー選択
    - 色の濃さ ↵
    - 色合い ↵
    - クローズドキャプション ↵
    - 壁スクリーン ↵
    - スタンバイモード ↵
    - 音声入力 ↵
    - 反転表示 ↵
    - メニュー位置 ↵
    - シネマモード ↵
    - WXGA ↵
    - 言語選択 ↵
  - 詳細メニュー
    - OK↵
- 情報
  - ランプ時間(低モード換算)
  - 入力端子
  - 解像度
  - 垂直周波数
  - 水平周波数
  - 同期信号 *2

*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*2: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。

クイックメニューの設定のしかた

画面はコントラストの設定を例として説明しています。

1 MENUボタンを押す

● クイックメニュー選択バーが表示されます。

2 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

● 希望のメニューが表示されます。

3 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

4 ◀、▶ボタンを押して設定する

クイックメニューを消すときは

5 MENUボタンを数回押す

● ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
● クイックメニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のとき行えます。

メニューを使って設定する(つづき)

クイックメニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

クイックメニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります。(通常はこれを選びます)
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	USER	詳細メニューの画質メニューで設定した値が反映されます。(29ページ参照)
コントラスト	±30	映像のコントラストを調整します。(34ページ参照)
ブライト	±30	映像の明るさを調整します。(34ページ参照)
色温度	標準、低、高、USER	映像の色温度を調整します。
シャープネス	±5	映像の鮮鋭度を調整します。
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
画角	NORMAL	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。(通常はこれを選びます)
	16:9	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときの投写位置を選択します。
	FULL	画面全体に表示したいときに選択します。
ユーザーメニュー		ユーザーメニュー選択で選んだメニュー項目が表示されます。
ユーザーメニュー選択		ユーザーメニューに表示する項目を選択します。
詳細メニュー		詳細メニューに移ります。

- 色温度は壁スクリーンの設定が OFF 以外のときは調整できません。
- カラーエンハンサーの切り換え時に、画像が乱れることがあります。
- ランプモードは電源を入れたとき、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。

情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間 (低モード換算)	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が10時間以内の場合、0Hが表示されます。10時間を超えると、1時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が3750時間を超えた場合、バーは黄色になります。4750時間を超えた場合、赤色になります。(ランプ寿命は5000時間です。)
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。

詳細メニュー

- 画質
  - カラーエンハンサー
    - AUTO
    - プレゼンテーション
    - 標準
    - シアター
    - USER ↵
      - ガンマモード — ダイナミック、ナチュラル、ディテール
      - BrilliantColor™ — 0-10
      - RGB-COLOR — ±10
      - RGB-TINT — ±10
  - コントラスト — ±30
  - ブライト — ±30
  - 色温度
    - 標準
    - 低
    - 高
    - USER ↵
      - コントラスト R — ±30
      - コントラスト G — ±30
      - コントラスト B — ±30
      - ブライト R — ±30
      - ブライト G — ±30
      - ブライト B — ±30
  - 色の濃さ *1 — ±10
  - 色合い *1 — ±10
  - シャープネス *1 — ±5
  - アドバンスドメニュー — OK ↵
    - ノイズリダクション *1 — ON, OFF
    - CTI *1 — ON, OFF
    - 入力レベル — ±5
    - クローズドキャプション *1 — OFF, CC1, CC2
    - 3D *8 — ON, OFF
    - 3D同期 *8 — 1, 2
- 設置
  - 壁スクリーン
    - ベージュ ↵ — 1-5
    - ライトブルー ↵ — 1-5
    - ライトグリーン ↵ — 1-5
    - ピンク ↵ — 1-5
    - 黒板
    - ホワイトボード
    - OFF
  - ランプモード — 標準、低
  - スタンバイモード — 標準、低
  - 音声入力 — AUTO, 音声1, 音声2, 音声3, MIX ↵ *6 — ± 10
  - 自動台形補正 — ON, OFF
  - 反転表示 — OFF, 左右, 上下, 上下左右
  - アドバンスドメニュー — OK ↵
    - オートパワーオン — ON, OFF
    - オートパワーオフ — OFF, 5分, 10分, 15分, 30分, 60分
    - イメージキャプチャー — GO ↵
    - スプラッシュスクリーン — ON, OFF
    - バックカラー — BLUE, BLACK, IMAGE
    - AV ミュートモード — BLACK, IMAGE
- オプション
  - 画角
    - NORMAL
    - 16:9 ↵ *7 — 上、中央、下 *8
    - FULL
  - パスワードロック — 映像表示 ↵、キー操作 ↵、スプラッシュスクリーン ↵
    - 設定 — OK ↵
    - 解除 — OK ↵
  - メニュー位置 — 1.画面左上、2.画面右下
  - シネマモード *3 — AUTO, OFF
  - 信号判別 *5 — AUTO, NTSC, PAL, SECAM, 4.43NTSC, PAL-M, PAL-N, PAL-60
  - WXGA *2 — OFF, AUTO, 1280 x 768, 1280 x 768RB, 1360 x 768, 1366 x 768, 1280 x 800
  - セットアップ *1 — AUTO, OFF, 3.75%, 7.5%
  - 言語選択 — 日本語, English, Español, Deutsch, Français, Italiano, 中文, 한국어, РУССКИЙ, PORTUGUÊS, SVENSKA, POLSKI
  - RESET ALL — OK ↵
- 信号設定
  - 水平位置 — 0-999 *4
  - 垂直位置 — 0-999 *4
  - ファイン *1 *2 — 0-31
  - 分周比 *2 — 0-2800 *4
  - COMPUTER入力 *2 — AUTO, RGB, YC_BC_R/YP_BP_R
  - オーバースキャン — 100-90% *4
  - 上部曲がり補正 *2
    - OFF
    - ON ↵
      - 開始 — 0-99
      - 終了 — 0-99
  - 詳細設定 — OK ↵
    - クランプ位置 *2 — 1-255
    - クランプ幅 *2 — 1-63
    - 垂直同期 — AUTO, OFF
    - LPF *1 *2 — ON, OFF
    - SHUTTER (U) — 0-20
    - SHUTTER (L) — 0-20
    - SHUTTER (LS) — 0-20
    - SHUTTER (RS) — 0-20
- ネットワーク
  - プロジェクター名 — *****...,設定 ↵
  - ネットワークパスワード — OK ↵
  - IP 設定 — OK ↵
    - DHCP 設定 — ON ↵, OFF ↵
    - IP アドレス — ***.***.***.***,設定 ↵
    - サブネットマスク — ***.***.***.***,設定 ↵
    - デフォルト・ゲートウェイ — ***.***.***.***,設定 ↵
    - MAC アドレス — xx-xx-xx-xx-xx-xx
  - PJLink認証 — ON ↵, OFF ↵
  - ネットワークリセット — OK ↵
- 情報
  - ランプ時間 (低モード換算)
  - 入力端子
  - 解像度
  - 垂直周波数
  - 水平周波数
  - 同期信号 *2

*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*2: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
*3: TV60、TV50、480i、576i信号入力時のみ選択できます。
*4: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
*5: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
*6: 入力ソースにHDMIを選んだ場合、音声入力の音声1、音声2、音声3およびMIX ↵ は選択できません。
*7: LVP-WD620には、↵ はありません。
*8: LVP-WD620には、この機能はありません。

● メニュー画面上の ↵ マークのある項目を確定するためには、項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

メニューを使って設定する(つづき)

詳細メニューの設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

1 MENUボタンを押す

- クイックメニューが表示されます。

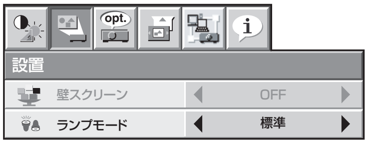
2 「詳細メニュー」を選び、ENTER ボタン(または▼ボタン)を押す

- 詳細メニュー選択バーが表示されます。

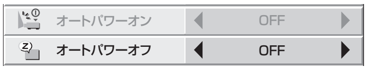
3 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

4 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

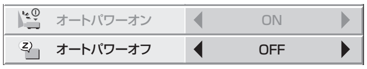
- 希望のメニューが表示されます。



5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



6 ◀、▶ボタンを押して設定する



詳細メニューを消すときは

7 MENUボタンを数回押す

- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- 画質メニュー、信号設定メニュー、および詳細設定メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のとき行えます。

詳細メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー　※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります。(通常はこれを選びます)
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	USER ↵	ガンマカーブ、色の濃さ、色合いをお好みに設定できます。(35ページ参照)
コントラスト	±30	映像のコントラストを調整します。(34ページ参照)
ブライト	±30	映像の明るさを調整します。(34ページ参照)
色温度	標準、低、高、USER ↵	映像の色温度を調整します。
色の濃さ	±10	映像の色の濃さを調整します。
色合い	±10	映像の色合いを調整します。
シャープネス	±5	映像の鮮鋭度を調整します。
アドバンスドメニュー	OK ↵	
ノイズリダクション	ON/OFF	ノイズが多い映像信号を入力した場合に、映像のノイズやざらつきを少なくすることができます。
CTI	ON/OFF	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	±5	接続する機器によっては、映像信号が大きいもの(白つぶれする)や小さいもの(暗くなる)があります。本メニューにてアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
クローズドキャプション	OFF	キャプション(字幕情報)を表示しないときに選択します。
	CC1/CC2	キャプション(字幕情報)を表示するときに選択します。
3D *1	ON/OFF	3D表示をON/OFFします。
3D同期 *1	1/2	左眼用映像と右眼用映像の順序を切り換えます。

アドバンスドメニュー

- TV50(PAL、SECAM) 信号入力時は色合いの調整はできません。
- 色温度は壁スクリーンの設定が OFF 以外のとき調整できません。
- COMPUTER 1、COMPUTER 2 または HDMI が選ばれているとき、色合いははたらきません。
- カラーエンハンサーの切り換え時に、画像が乱れることがあります。
- キャプションは、画面にメニューや音量設定、入力切り換えの情報が表示されている間は表示されません。
- クローズドキャプションは、主に北米の TV 放送に使用されている NTSC 信号に多重された文字情報を表示する機能です。

*1　LVP-WD620 には、この機能はありません。

メニューを使って設定する（つづき）

設置メニュー

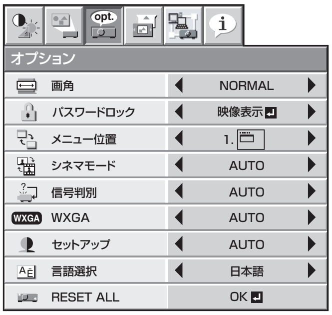
設定項目	設定	はたらき
壁スクリーン	OFF、ベージュ ↵、ライトブルー ↵、ライトグリーン ↵、ピンク ↵、黒板、ホワイトボード	投写する壁の色に合わせて選択します。黒板、ホワイトボード以外は色合いを微調整 (1～5)できます。(34ページ参照)
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
スタンバイモード	標準	標準モードでは、LAN端子は動作します。
	低	低選択時は、消費電力は少なくなりますが、LANとMONITOR OUT端子は動作しません。
音声入力	AUTO	AUTOを選択した場合は、入力ソースがCOMPUTER1のときは音声1を、入力ソースがCOMPUTER 2のときは音声2を、入力ソースがVIDEO/S-VIDEOのときは音声３を選びます。また、入力ソースがHDMIのときはHDMIを選びます。
	音声1/音声2/音声3	音声入力を選択します。
	MIX ↵	MIX選択時は、音声1と音声2のMIX信号が選ばれます。MIX ↵で音声1と音声2のバランスが変更できます。
自動台形補正	ON/OFF	自動台形補正（Auto Keystone）機能を選びます。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
アドバンスドメニュー	OK ↵	
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフは、はたらきません。
	5分、10分、15分、30分、60分	映像信号が未入力のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。
イメージキャプチャー	GO ↵	スプラッシュスクリーン（起動画面）を変更するときに選択します。（20ページ参照）
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE/BLACK/IMAGE	無信号時の背景の色を選択します。
AVミュートモード	BLACK/IMAGE	AV MUTEボタンを押したとき、真っ黒な画面を表示するか、スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示するか選択します。

アドバンスドメニュー

- ランプモードは電源を入れたとき、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- 音声入力は、入力ソースにHDMIを選んだ場合、HDMIの音声になります。音声 1、音声 2、音声 3 および MIX ↵の音声は選択できません。

オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
画角	NORMAL	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。(通常はこれを選びます)
	16:9 ↵ *1	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときの投写位置を選択します。ENTERキーを押すと上、中央、下に表示位置が変更できます。(*2)
	FULL	画面全体に表示したいときに選択します。
パスワードロック	映像表示 ↵、キー操作 ↵	パスワードロック機能のモード切り換え、パスワードロック機能の設定、解除に使います。(39ページ参照)
メニュー位置	1. 画面左下	メニューの表示位置を切り換えます。
	2. 画面右下	
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。
	OFF	フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します。(通常はAUTOに設定します)
WXGA	OFF/AUTO/1280X768/1280X768RB/1360X768/1366X768/1280X800	WXGAの信号を入力したときにAUTOでうまく表示されないときは、このメニューでフォーマットを選択してください。入力信号がWXGA信号以外のときはOFFを選んでください。
セットアップ	AUTO	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	OFF	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
	3.75%/7.5%	米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
言語選択	12言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK ↵	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします(言語選択、パスワードロックを除く)。



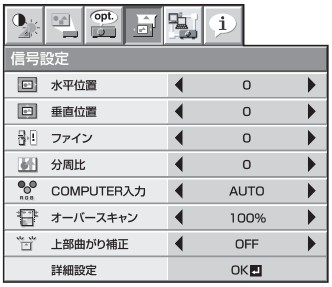
- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- RESET ALL には、少し時間がかかることがあります。

*1　LVP-WD620 には、↵ はありません。
*2　LVP-WD620 には、この機能はありません。

信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
水平位置	0-999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0-999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0-31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0-2800	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。
	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤまたはY、P_B、P_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
オーバースキャン	100%-90%	投写映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON ↵	画面に上部曲がりが起こったときに調整します。
詳細設定	OK ↵	ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。



メニューを使って設定する（つづき）

詳細設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。

設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	1-255	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1-63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに合わせます。
LPF	ON、OFF	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。通常はOFFを選択します。
SHUTTER(U)	0〜20	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0〜20	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0〜20	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0〜20	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

LPF（プログレッシブフィルター）について

ご使用になるDVDプレーヤ、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

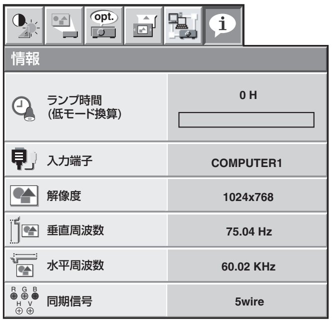
ネットワークメニュー

設定項目	設定	はたらき
プロジェクター名	*****...	プロジェクター名が表示されます。プロジェクター名を設定していない場合は空欄で表示されます。
	設定 ↵	プロジェクター名を設定します。英数字または記号で15文字以内で入力してください。
ネットワークパスワード	OK ↵	Web制御、PJLink認証用のパスワードを設定します。
IP設定	OK ↵	IP設定を行います。
DHCP設定	ON ↵/OFF ↵	DHCPサーバーによる自動IP取得を行うかどうかを選択します。
IPアドレス	***.***.***.***	IPアドレスが表示されます。ただし、工場出荷時はIPアドレスが設定されていませんので表示されません。
	設定 ↵	IPアドレスを設定します。DHCP設定がONのときは変更できません。
サブネットマスク	***.***.***.***	サブネットマスクが表示されます。ただし、工場出荷時はサブネットマスクが設定されていませんので表示されません。
	設定 ↵	サブネットマスクを設定します。DHCP設定がONのときは変更できません。
デフォルト・ゲートウェイ	***.***.***.***	デフォルト・ゲートウェイが表示されます。ただし、工場出荷時はデフォルト・ゲートウェイが設定されていませんので表示されません。
	設定 ↵	デフォルト・ゲートウェイを設定します。DHCP設定がONのときは変更できません。
MACアドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx	MACアドレスが表示されます。
PJLink認証	ON ↵/OFF ↵	PJLink認証を行うかどうかを選択します。
ネットワークリセット	OK ↵	ネットワーク設定を初期化します。

IP 設定メニュー

情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間 (低モード換算)	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が10時間以内の場合、0Hが表示されます。10時間を超えると、1時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が3750時間を超えた場合、バーは黄色になります。4750時間を超えた場合、赤色になります。（ランプ寿命は5000時間です。）
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。



映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

1 クイックメニューまたは画質メニューを表示させる (メニュー設定のしかたは25または28ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。

コントラスト	◀	0	▶
ブライト	◀	0	▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

コントラスト...... ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりとします。

ブライト............... ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは28ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● 色温度の詳細メニューが表示されます。

色温度-USER			
コントラストR	◀	0	▶
コントラストG	◀	0	▶
コントラストB	◀	0	▶
ブライトR	◀	0	▶
ブライトG	◀	0	▶
ブライトB	◀	0	▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作 5、6 を繰り返して設定する

8 MENUボタンを3回押す

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

● 色温度を高くするには
コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。

● 色温度を低くするには
コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは28ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。

色の濃さ	◀	0	▶
色合い	◀	0	▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ .... ▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。

色合い................. ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。

● 「色の濃さ」、「色合い」は、ビデオ入力時のみ表示されます。

● 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

1 クイックメニューまたは画質メニューを表示させる (メニュー設定のしかたは25または28ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

シャープネス	◀	0	▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

● 「シャープネス」は、ビデオ入力時のみ表示されます。

スクリーン(壁色)に合わせた色の調整をする

設置メニューの壁スクリーンの設定を壁の色に合わせた設定にすると、簡易的に壁に投影した映像をより自然な色合いに合わせることができます。ベージュ、ライトブルー、ライトグリーン、ピンクの壁紙や黒板、ホワイトボードに対応しています。黒板以外では、色合いの微調整もできます。

1 設置メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは28ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「壁スクリーン」を選ぶ

壁スクリーン	◀	OFF	▶

3 ◀、▶ボタンを押して投写する壁の色に近い色を選択する

● スクリーンや白い壁に投写する場合は、「OFF」を選択します。

● 「OFF」または「黒板」、「ホワイトボード」を選択した場合は、色合いの設定はできません。

4 ENTERボタンを押す

ライトブルー ⏎	◀	1	▶

5 ◀、▶ボタンを押して色合いを調整する

独自の明るさと色合いを設定する（カラーエンハンサーの詳細説明）

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。

1 画質メニューを表示させる（メニュー設定のしかたは 28 ページ参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーエンハンサー」を選ぶ

カラーエンハンサー	◀ AUTO ▶	

3 ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

5 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

ガンマモード

最適なガンマとランプの電力変調の設定をします。明るさが不足がちな色を明るく強調できます。

ダイナミック .... 明るい環境でメリハリのきいた映像を映したいときは、明るい色をより明るく強調します。

ナチュラル .... 必要以上のメリハリより色再現性を重視したいときは、必要十分な明るさと鮮やかな色を実現します。

ディテール .... 映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいときに選びます。

BrilliantColor™

黄色や肌色など、中間色の色を自然の明るさに設定します。▶ボタンを押すごとに、明るさが増します。◀ボタンを押すごとに、暗くなります。「(0」に設定した場合、効果はありません。)

RGB-COLOR

映像の色の濃さを設定できます。▶ ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

RGB-TINT

映像の色合いを設定できます。▶ ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

カラーエンハンサーーUSER	
ガンマモード	◀ ダイナミック ▶
BrilliantColor™	◀ 10 ▶
RGB-COLOR	◀ 10 ▶
RGB-TINT	◀ 10 ▶

- BrilliantColor™ を「0」に設定すると、白の色調整ができなくなりますが、色をより忠実に再現することができます。
- ガンマモードの切り換え時に、画像が乱れることがあります。

コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITION ボタンを押してください（17 ページ参照）。それでも正しく投写されないときは、メニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。また、設定した内容は自動的に記録されます。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下の様に調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**
  信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く（または黒く）つぶれる**
  信号設定メニューの詳細設定メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(LS)またはSHUTTER(RS)を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(U)またはSHUTTER(L)を調整します。
- **画面に上部曲がりがおこる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※信号設定メニューの中の詳細メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITION ボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。

2 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

ネットワークを設定する

メニューを使って本体のネットワーク設定を行います。

プロジェクター名を設定する

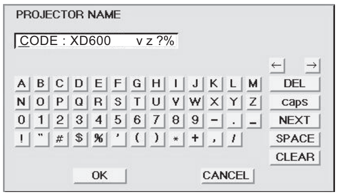
1 ネットワークメニューを表示させる（ メニュー設定のしかたは28ページを参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「プロジェクター名」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ↵」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● プロジェクター名入力画面が表示されます。



5 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する文字または記号を選び、ENTERボタンを押す

● プロジェクター名はアルファベット（ 大･小 ）、数字、記号で最大15文字まで設定できます。
←キー..........................入力カーソル位置が1文字分左へ移動する
→キー..........................入力カーソル位置が1文字分右へ移動する
DELキー......................入力カーソル位置の文字を1文字消去する
caps/CAPSキー.......アルファベットの大文字 (caps) と小文字 (CAPS)を切り替える
NEXT/PREVキー.....キーパッド4行目の記号を切り替える
SPACEキー...............入力カーソル位置に空白を挿入する
CLEARキー................入力した文字を全て消去する

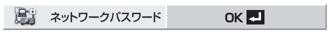
6 「OK」を選ぶと、入力した名前を設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します

● 「OK」または「CANCEL」を選ぶとネットワークメニューへ戻ります。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークパスワードを変更する

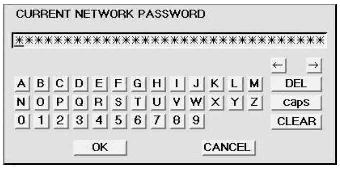
1 ネットワークメニューを表示させる（ メニュー設定のしかたは28ページを参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークパスワード」を選ぶ



3 ENTERボタンを押す

● 現パスワード入力画面が表示されます。

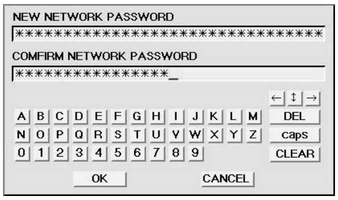


4 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する文字または記号を選び、ENTERボタンを押す

● パスワードはアルファベット(大･小)、数字で最大32文字まで設定できます。
←キー..........................入力カーソル位置が1文字分左へ移動する
→キー..........................入力カーソル位置が1文字分右へ移動する
DELキー......................入力カーソル位置の文字を1文字消去する
caps/CAPSキー......アルファベットの大文字 (caps) と小文字 (CAPS)を切り替える
CLEARキー･..............入力した文字を全て消去する
● 工場出荷設定ではパスワードは「admin」になっています。

5 「OK」を選び、入力したパスワードが正しければ続けて新パスワード入力画面が表示されます

● パスワードを間違えた場合、エラーダイアログが表示され再度現パスワード入力画面が表示されます。



6 新パスワードと確認用パスワードを入力します

● パスワードはアルファベット(大･小)、数字で最大32文字まで設定できます。
←キー..........................入力カーソル位置が1文字分左へ移動する
→キー..........................入力カーソル位置が1文字分右へ移動する
↕ キー..........................入力カーソル位置が新パスワード入力欄と確認用パスワード入力欄の間で移動する
DELキー......................入力カーソル位置の文字を1文字消去する
caps/CAPSキー......アルファベットの大文字 (caps) と小文字 (CAPS)を切り替える
CLEARキー................入力した文字を全て消去する

7 新パスワードと確認用パスワードが一致したらネットワークパスワードを変更して終了します

● 入力内容が一致していない場合、エラーダイアログが表示され、再度新パスワード入力画面が表示されます。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

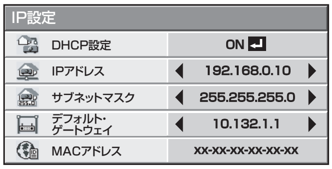
IP を設定する

1 ネットワークメニューを表示させる（ メニュー設定のしかたは28ページを参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「IP設定」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

● IP設定の詳細メニューが表示されます。



DHCP の設定・解除をする

1 IP設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「DHCP設定」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

● 設定確認のダイアログが表示されます。

4 ◀、▶ボタンを押して「ON ↵」または「OFF ↵」を選ぶ

5 設定したい項目を選んでENTERボタンを押す

● 設定を変更しない場合は、MENUボタンを押してダイアログを解除してください。

● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

● DHCP 設定を ON にした場合、「IP アドレス」,「サブネットマスク」,「デフォルト・ゲートウェイ」の設定はできません。設定する場合はDHCP設定をOFFにし、以下の手順でIP設定を行ってください。

IP アドレスを設定する

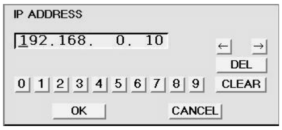
1 IP設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IPアドレス」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ↵」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● IPアドレス入力画面が表示されます。



5 方向ボタンでキーカーソルを移動させ入力する数字を選び、ENTERボタンを押す

● 数値は0〜255の範囲で入力してください。
ただし、最終オクテットのみ1〜254の範囲内で入力してください。
←キー..........................入力カーソル位置が左へ移動する
→キー..........................入力カーソル位置が右へ移動する
DELキー.....................入力カーソル位置の文字を1文字消去する

6 「OK」を選ぶと、入力した IP アドレスを設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します

● 入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示され再度IPアドレス入力画面が表示されます。

● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

サブネットマスクを設定する

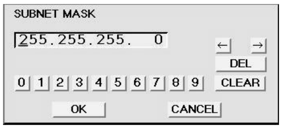
1 IP設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「サブネットマスク」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ↵」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● サブネットマスク入力画面が表示されます。



5 サブネットマスクを入力します

● 入力方法については <IP アドレスを設定する > を参照してください。

6 「OK」を選ぶと、入力したサブネットマスクを設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します

● 入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示され再度サブネットマスク入力画面が表示されます。

● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークを設定する（つづき）

デフォルト・ゲートウェイを設定する

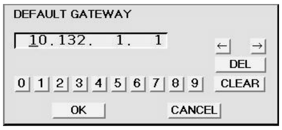
1 IP設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「デフォルト・ゲートウェイ」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「設定 ↵」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

- デフォルト・ゲートウェイ入力画面が表示されます。



5 デフォルト・ゲートウェイを入力します

- 入力方法については <IP アドレスを設定する> を参照してください。

6 「OK」を選ぶと、入力したデフォルト・ゲートウェイを設定して終了し、「CANCEL」を選ぶと、設定を保存せずに終了します

- 入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示され再度デフォルト・ゲートウェイ入力画面が表示されます。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

PJLink 認証の設定・解除をする

PJLink プロトコル通信を行うかどうかを設定します。

- PJLinkについては40ページを参照してください。

1 ネットワークメニューを表示させる（ メニュー設定のしかたは28ページを参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「PJLink認証」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

- 設定確認のダイアログが表示されます。

4 ◀、▶ボタンを押して「ON ↵」または「OFF ↵」を選ぶ

5 設定したい項目を選んでENTERボタンを押す

- 設定を変更しない場合は、MENUボタンを押してダイアログを解除してください。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク設定を初期化する

1 ネットワークメニューを表示させる（メニュー設定のしかたは28ページを参照）

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークリセット」を選ぶ

3 ENTERボタンを押す

- 確認のダイアログが表示されます。

4 もう一度ENTERボタンを押すと、ネットワーク設定が初期化されます

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク機能を使うには

- コンピュータとプロジェクターを LAN 接続する際は、両方の IP アドレスを同じネットワークグループになるように設定してください。
異なるネットワークグループで接続する場合ルーターをご使用ください。ルーターの設定についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- IP 設定は正しく行ってください。正しく設定していないと、通信ができない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者へご相談ください。
- プロジェクターのスタンバイモードの設定によっては、LAN 機能が利用できないことがあります。スタンバイモードについては、30 ページを参照してください。

■用語説明

詳細については市販の書籍などをご覧ください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で、ネットワークに接続する機器に IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
サブネットマスク	IP アドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数字のことです。
デフォルト・ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を越えて通信するためのサーバー(ルーター）のことです。
MAC アドレス	Media Access Control アドレスの略です。MAC アドレスはネットワークアダプタごとの固有の ID 番号です。すべてのネットワークアダプタは 1 つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプタ間の送受信が行われます。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面(スプラッシュ画面)が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります(リモコンのボタン操作はできます)。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

スプラッシュスクリーン

メニュー画面のスプラッシュスクリーンおよびイメージキャプチャーの設定ができなくなります。このときスプラッシュスクリーンは自動的にONに設定されます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる

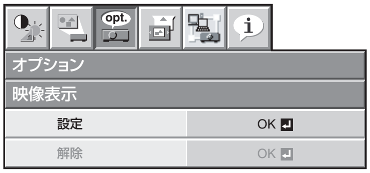
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ◀または▶ボタンを押してモード(映像表示またはキー操作)を切り換える

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

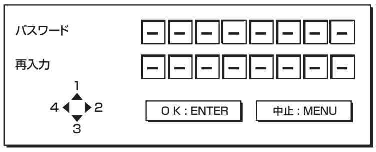
4 ENTERボタンを押す

- パスワードロック画面(設定用)が表示されます。



5 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



6 ▲、▼、◀、または▶ボタンを押して4〜8桁のパスワードを入力する
(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

7 ENTERボタンを押す

8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

9 ENTERボタンを押す

- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる

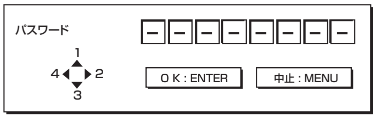
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ENTERボタンを押す

- パスワードロック画面(解除用)が表示されます。

4 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



5 ▲、▼、◀、または▶ボタンを押して4〜8桁のパスワードを入力する
(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

6 ENTERボタンを押す

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

パスワードを忘れたときは

パスワード入力画面を表示した状態で、本体操作パネルのMENUボタンおよびENTERボタンを同時に押して、パスワードを解除してください。

コンピュータによる監視と制御

本機はコンピュータによるプロジェクターの監視および制御を LAN 回線経由で行うことができます。

- 監視および制御には、付属品のCD-ROM内のソフト「ProjectorView Global+* (対応OS: Windows® 2000、Windows® XP、Windows® Vista)」をインストールする必要があります。詳しくは、CD-ROM内の「LAN制御UTILITY操作説明書」をご覧ください。
  *) ProjectorView Global+の機能
  - 単体／複数のプロジェクターの一括操作
  - 曜日ごとの電源ON/OFFのスケジュール機能
  - プロジェクターの各種状態の取得と盗難検知
  - プロジェクターのIP設定
  - Webブラウザーによる状態制御・監視ツール ProjectorViewの起動
  - プロジェクターの画面上に任意の文字を表示させる Visual PAの起動

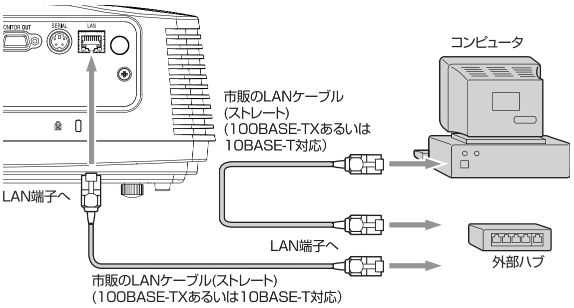
主な機能

- ProjectorView Global+プロジェクター一括制御・状態監視アプリケーション
- ProjectorView
  Web ブラウザーによりプロジェクターの監視と制御を行う
- PJLink®
  プロジェクター制御用の標準プロトコルで、異なるメーカー間、機種間であっても同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの監視・制御を行う

PJLink® について

- PJLink®機能を使用するには、別途、PJLink®アプリケーションソフトが必要です。
- PJLink®の仕様に関しては、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)のWebサイトを参照してください。
  URL http://pjlink.jbmia.or.jp/
- 本プロジェクターは、JBMIA PJLink®クラス1の規格に適合しています。PJLink®クラス1で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン1.0で適合を確認しています。

接続



- LANケーブルは、ストレート結線でカテゴリー5対応のものを使用してください。
- 静電気を帯びた手で LAN 端子にふれると静電気の放電により、故障の原因となることがあります。LAN端子およびLANケーブルの金属部分には触れないようにしてください。

付属の CD-ROM について

付属のCD-ROMには、アプリケーションソフト「ProjectorView Global+」、「LAN制御UTILITY操作説明書」およびAcrobat® Reader®が収録されています。

LAN制御UTILITY操作説明書をご覧になるには

以下の手順に従ってご覧ください。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROM "LVP-XD600/LVP-WD620" を開く
3. "Manual.pdf"のアイコンをダブルクリックする

- LAN制御UTILITY操作説明書をご覧になるには、コンピュータにAcrobat® Reader®がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

Acrobat® Reader®のインストールについて

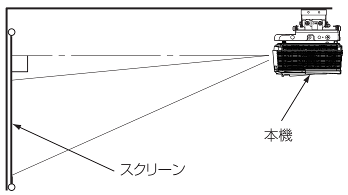
1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる
2. CD-ROM "LVP-XD600/LVP-WD620" を開く
3. "ACROBAT_READER"フォルダーを開く
4. インストール用ソフトのアイコンをダブルクリックする
5. 画面の指示に従ってインストールする

スタンバイモードが"低"の場合はLAN機能が働きませんので、スタンバイモードを"標準"に設定してLAN機能を有効にしてください。

設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた

天吊りして正面から映像を見る場合

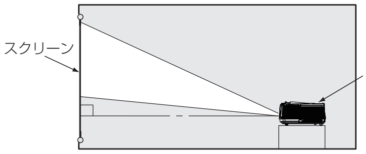
天吊りにする場合は、別売の専用天吊り金具を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。
詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。詳しくは、30 ページをご覧ください。
- ブレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。
詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。詳しくは、30 ページをご覧ください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤（ベンジン、シンナーなど）やスプレーを使用しないでください。
ランプ点灯の際、可燃成分に引火して火災や故障の原因になることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れを拭き取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

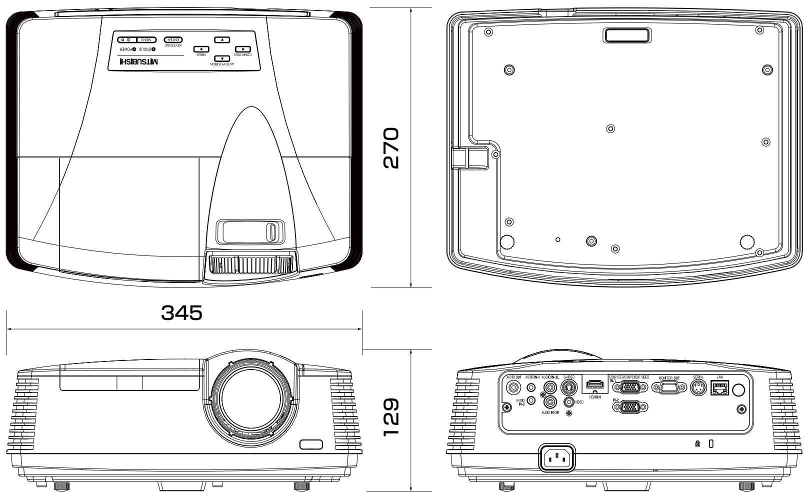
レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

寸法図（参考）

単位は mm



光源ランプを交換する

本機には、DMDの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売の専用光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

LVP-XD600/LVP-WD620用光源ランプ
形名：VLT-XD600LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約90秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。
- 天吊り状態でランプ交換をする場合は、ガラス片が飛び散るおそれがありますので、本機または別売の専用光源ランプに付属のランプ交換用アタッチメントを必ずご使用ください。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠注意

本機は光源ランプの使用時間が3750 時間※1を超えるとSTATUSインジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。4750時間※1を超えると以後25時間※1おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP EXCHANGE)が表示されます。また、光源ランプの使用時間が5000時間※1※2を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換して、使用時間をリセットするまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音を併なって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプボックス部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用のVLT-XD600LP をご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

※1: ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は短くなります)。

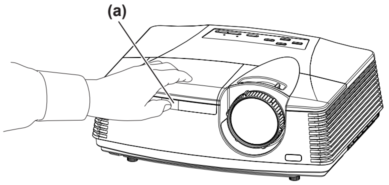
※2: ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は 3000時間)。

ランプ交換のしかた

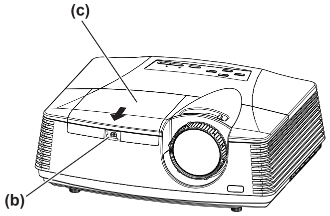
A) 床置きの場合

本体が動かないように安定させてから作業してください。

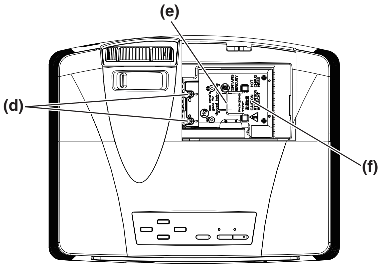
1 ランプカバー固定ネジの目隠しカバー(a)を指の爪を引っ掛けて外します。指で外しにくい場合は、マイナスドライバーのような先の細いもので外します。



2 ネジ(b)を外し、ランプカバー(c)をスライドして外します。



3 ランプユニット固定ネジ（ｄ）２本をゆるめ、ランプユニットの取手(e)を持ってランプユニット(f)を取出します。



（注意）
- ランプを交換する場合、固定ネジ（ｄ）２本以外はゆるめないでください。故障の原因となります。
- ランプユニットを本体から取外す際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合、急に抜出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取外したランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

4 新しいランプユニットを挿入し、固定ネジ２本でしっかり固定します。

5 ランプカバーをネジ(b)で元のように取付け、目隠しカバー(a)を取付けます。

（注意）
- ランプカバーの取付けが不完全ですと、POWER インジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

B) 天吊りの場合

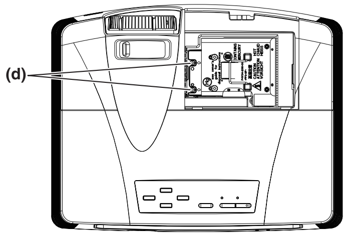
天吊りしているプロジェクターからランプユニットを取外すときは、ガラスの破片などから身を守るため、本機または別売の専用光源ランプに付属のランプ交換用アタッチメントを必ずご使用ください。

● ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

1 "A) 床置きの場合"の手順１と２を参照し、ランプカバーを外します。

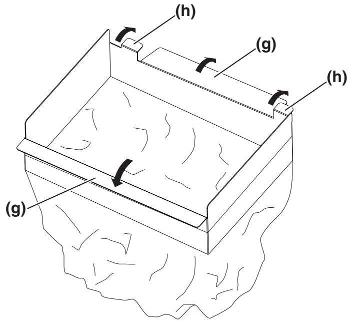
（注意）
- 天吊り設置のプロジェクターのランプを交換する場合、ランプカバーの内側にガラスの破片があることがありますので、ランプカバーを取外すときは十分注意してください。

2 ランプユニット固定ネジ（ｄ）２本をゆるめます。

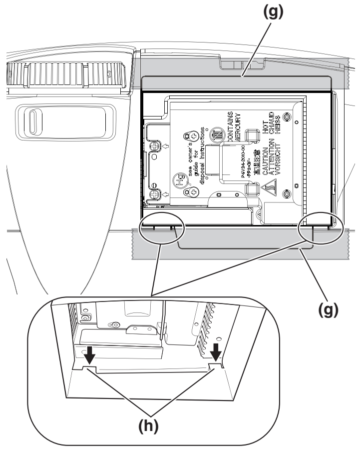


（注意）
- ランプを交換する場合、固定ネジ（ｄ）２本以外はゆるめないでください。故障の原因となります。

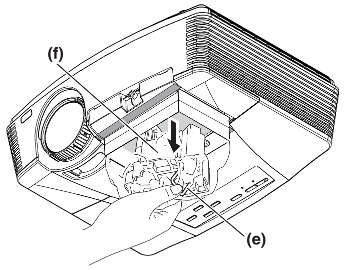
3 付属のランプ交換用アタッチメントを図のように折曲げ線に沿って、テープ貼り部分２ヵ所（ｇ）と切欠き部分２ヵ所（ｈ）を折曲げて組み立てます。



4 切欠き部２ヵ所（ｈ）を本体のスリットに挿入し、テープ貼り部２ヵ所（ｇ）をランプ交換用アタッチメントに同梱のテープで貼付け、ランプ交換用アタッチメントを本体に固定します。



5 袋の上からランプユニットの取手(e)を持ってランプユニット(f)を取外します。



光源ランプを交換する(つづき)

6 ランプ交換用アタッチメントを固定しているテープをはがし、ランプユニットが袋に入った状態でランプ交換用アタッチメントごと外します。

（注意）

- ランプユニットを本体から取外す際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合、急に抜出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取外したランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

7 新しいランプユニットを挿入し、固定ネジ２本でしっかり固定します。

8 ランプカバーをネジ(b)で元のように取付け、目隠しカバー(a)を取付けます。

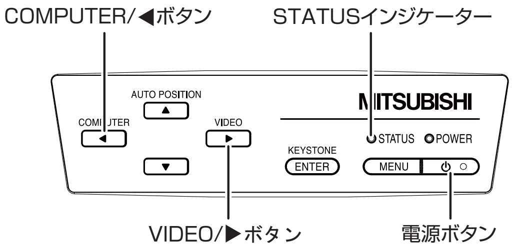
（注意）

- ランプカバーの取付けが不完全ですと、POWER インジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

1 電源プラグをコンセントに接続します。

2 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(⏻)を同時に押します。



- ３つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- STATUS インジケーターが赤色に 2 回点滅し、リセットされたことを確認してください。
- ランプ使用時間がランプ寿命を越えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプ交換をしていないときは、使用時間をリセットしないでください。

※ ランプ寿命時間については42ページ参照。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認 / 処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>○
消灯</td><td>○
消灯</td><td>● 電源コードを本機に接続する。
● 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>○
消灯</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>オレンジ点滅</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。</td></tr>
<tr><td>緑点滅</td><td>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。
● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。
● 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>● 光源ランプを交換する。（光源ランプの寿命に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤/緑点滅</td><td>○
消灯</td><td>● ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>点灯
または
点滅</td><td>● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● AV MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。
● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する（43、44ページ参照）。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し換えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。
（このときSTATUSインジケーターはオレンジ点滅しています）
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。（STATUS インジケーターが消灯するまで待つ）
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 約 10 分ほど待つ。
4. 電源プラグをコンセントに接続する。
5. 電源ボタンを押す。
● STATUSインジケーターが赤く点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。</td></tr>
</table>

故障かなと思ったら(つづき)

映像が映らない

現象	確認 / 処置
「入力信号がありません」が表示される	● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB 接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。

映像がおかしい

現象	確認 / 処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(35ページ参照)。 ● WXGA信号を入力している場合は、オプションメニューのWXGAの設定をご確認ください。 ● 入力信号がWXGA信号以外のときは、オプションメニューのWXGAの項目でOFFを選んでください。
映像がひずむ	● 本機と投写面が直角になるように調整する(17ページ参照)。
映像が暗い	● クイックメニューまたは画質メニューのブライトの調整をする(34ページ参照)。 ● レンズキャップをはずす。 ● ランプを交換する(42ページ参照)。
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。(14、23ページ参照) ● レンズをきれいに拭く。 ● レンズキャップをはずす。 ● リモコンの◀、または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● クイックメニューまたは画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする(34ページ参照)。 ● 本機と投写面が直角になるように調整する(17ページ参照)。
画面が焼き付く (残像がある)	● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。(ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。)
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	● DLPプロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 (一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99%以上は有効な画素数です。)
映像に細かい縞模様が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。 ● ご使用になる DVD プレーヤ、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。
映像(および音声)が乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する(31ページ参照)。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を2台以上投写し比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニタなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピュータの動画部分だけが表示できない	● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる(50ページ参照)。 コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。
映像がちらつく	● 電源ボタンまたはリモコンの ON ボタンを押したあと、または、ランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。 ● 入力切り換え、AUTO POSITION、カラーエンハンサーの切り換え時等に一時的に画像がちらつくことがありますが、故障ではありません。
映像がピクつく	● プロジェクターが振動している可能性があります。設置メニューの自動台形補正を OFF にしてください。または、リモコンのVOLUME▼ボタンを押して音量を下げてください。

その他

現象	確認 / 処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることがありますが、故障ではありません。
外部音声出力が出ない または小さい	● 音量設定が小さくなっていないか確認する。 ● 音声入力の設定を確認する。 ● 外部機器がHDMIケーブルで接続されているときは、外部機器の音声出力をPCM出力に設定してください。 ● アンプを内蔵していないマイクを接続した場合、入力信号が小さいため外部音声出力が小さくなります。 →アンプ内蔵のマイクを使う。または、外付けのマイクアンプを使う。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」が表示（点滅）がされる	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠ マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない・効きにくい	● 電池が消耗していないか確認する（2ページ参照）。 ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する（11ページ参照）。 ● リモコンの操作範囲から外れていませんか（11ページ参照）。
本体操作パネルのボタン（電源ボタンを除く）がはたらかない	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されています。 →設定を解除する。
異音がする	● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが、故障ではありません。

ランプ交換のあとで以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認 / 処置
電源が入らない	● ランプカバーをきちんと取り付ける。
STATUS インジケーターが点滅する	● ランプ使用時間をリセットする（44ページ参照）。

索引

ア行

アドバンスドメニュー .... 29、30
アフターサービス 51
色合い .... 29、34
色温度 .... 29、34
色の濃さ .... 29、34
オートパワーオフ 30
オートパワーオン 30
オプションメニュー 31

カ行

画角 .... 26、31
画質メニュー 29
カラーエンハンサー 35
乾電池を入れる 2
ガンマモード 35
クイックメニュー 25
クランプ位置 .... 32、35
クランプ幅 .... 32、35
言語選択 31
コントラスト 34
コンピュータとの接続 12

サ行

シネマモード 31
上部曲がり補正 .... 31、35
シャープネス 34
仕様 49
詳細メニュー 27
詳細設定メニュー 32
信号設定メニュー 31
信号判別 31
スタンバイモード 30
接続
　コンピュータ 12
　DVD プレーヤ 22
　ハイビジョンデジタルチューナー 22
　ビデオ機器 21
　HDMI 出力付きビデオ機器 21

接続できる信号の種類 50
設置メニュー 30

タ行

台形補正 18
投写角度の調整 17
投写距離 .... 14、15
ダイレクトパワーオフ .... 17、23

ハ行

パスワードロック 39
バックカラー .... 20、30
反転表示 .... 30、41
ビデオ機器との接続 21
ピントの調整 .... 14、23
付属品 2
ブライト 34
分周比 .... 31、35
別売品 49

マ行

メニュー位置 31
メニューの設定のしかた .... 25、28

ヤ行

ユーザーメニュー選択 26

ラ行

ランプカバー .... 9、42
ランプ交換 42
ランプモード .... 26、30、33、42
リモコン受光部 11

A

ASPECT ボタン .... 10、24
AUTO POSITION ボタン .... 10、17、35
AV MUTE ボタン .... 10、19

C

COMPUTER IN 端子(1 と 2) .... 9、12、22、48
COMPUTER ボタン .... 10、14、23

D

DVD プレーヤーとの接続 22

E

ENTER ボタン .... 10、25、28

F

FREEZE ボタン .... 10、24

H

HDMI IN 端子 .... 9、21、48
HDMI 出力付きビデオ機器との接続 21
HDMI ボタン .... 10、23

K

KEYSTONE ボタン .... 10、18

L

LAN 端子 .... 9、40

M

MAGNIFY ボタン .... 10、19
MENU ボタン .... 10、25、28
MONITOR OUT 端子 .... 9、12、48

P

POWER インジケーター
 .... 9、13、22、45、裏表紙

S

STATUS インジケーター
 .... 9、17、23、42、44、45、裏表紙
S-VIDEO IN 端子 .... 9、21

V

VIDEO ボタン .... 10、23
VOLUME ボタン .... 10、14、17、23
VIDEO IN 端子 .... 9、21

端子について

COMPUTER IN端子(1と2)(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

HDMI IN端子(HDMI 19ピン)

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data0 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2 Shield	9	TMDS Data0-	16	SDA
3	TMDS Data2-	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1 Shield	12	TMDS Clock-	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1-	13	CEC		
7	TMDS Data0+	14	−		

MONITOR OUT端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	−
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	−
4	−	12	−
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	−
8	GND		

SERIAL(RS232C) 端子(ミニDIN 8ピン)

PIN No.	名称	I/O
1	TXD	入力
2	−	−
3	−	−
4	GND	−
5	−	−
6	−	−
7	RXD	出力
8	−	−

※　コンピュータで本機を制御するときに使用します。シリアルケーブルはクロスタイプのものをご使用ください。
詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

仕様（仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形式			LVP-XD600/LVP-WD620
表示方式			DLP®（単板 DLP® チップ）
光学方式			時分割色分離・合成方式
表示素子	サイズ		LVP-XD600：0.7 形×1（枚）、アスペクト比 4：3 LVP-WD620：0.65 形×1（枚）、アスペクト比 16：10
	画素数		LVP-XD600：786,432 画素（1024 × 768）× 1 枚 LVP-WD620：1,024,000 画素（1280 × 800）× 1 枚
投写レンズ	焦点距離		f=20.6 ～ 30.1mm
	F 値		F2.4 ～ 2.8
光源			高圧水銀ランプ　280W
画面サイズ（投写距離）			LVP-XD600: 40 形～ 300 形（ワイド端のみ）、1.1 ～ 8.8m LVP-WD620: 40 形～ 300 形（ワイド端のみ）、1.2 ～ 9.5m
再現色数			1,677 万色（フルカラー）
音声出力			10W、モノラル
スピーカー			口径 φ5.0cm、個数 1
表示可能解像度	コンピュータ信号入力時	最大入力解像度	1280 × 1024 ドット（圧縮表示）
		パネル解像度	LVP-XD600：1024 × 768 ドット LVP-WD620：1280 × 800 ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号：NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC 水平解像度：600TV 本（S 端子入力時）
コンピュータ入出力	コンピュータ入力	映像入力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB または Y/PB/PR または Y/CB/CR 信号対応）、2 系統 ・ RGB：0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） ・ Y：1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） ・ PBPR/CBCR：0.7Vp-p 75Ω ・ HD/CS：TTL レベル（負または正極性） ・ VD：TTL レベル（負または正極性）
		音声入力	φ3.5mm ステレオミニジャック、1 系統 ・ 350mVrms 10kΩ 以上
	コンピュータ出力	映像出力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB/Y/P_B/P_R/Y/C_B/C_R 出力）、1 系統 ・ コンピュータ入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（ビデオ出力と共有）
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA 端子、1 系統 ・ 1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） S 端子、1 系統 ・ Y：1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） ・ C：0.286Vp-p 75Ω（バースト信号）
		音声入力	φ3.5mm ステレオミニジャック、1 系統 ・ 350mVrms 10kΩ 以上
	HDMI 入力	映像・音声入力	HDMI（19 ピン）、1 系統（音声は PCM にのみ対応）
	ビデオ出力	音声出力	φ3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（コンピュータ出力と共有）
制御入出力 / その他			SERIAL（RS232C）端子（ミニ DIN 8 ピン）：1 系統（プロジェクター本体制御用） LAN 端子（RJ-45）：1 系統（プロジェクター本体監視制御用）
使用温度（使用湿度）			使用温度範囲：5 ～ 35 ℃（使用湿度範囲：30 ～ 90%）
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			3.9A 390W
外形寸法			W（幅）345mm × H（高さ）129mm × D（奥行き）270mm
質量			3.6kg

「JIS C 61000-3-2 適合品」

：JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	形名 SCR-A50P
	形名 SCR-A60P
	形名 SCR-A80P
光源ランプ	形名 VLT-XD600LP

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H × V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	LVP-XD600 解像度 (H × V)	LVP-WD620 解像度 (H × V)	
TV60, 480i (525i)	-	15.73	59.94	1024 x 768	1066 x 800	*2 *3
TV50, 576i (625i)	-	15.63	50.00	1024 x 768	1066 x 800	*2 *3
1080i 60 (1125i 60)	-	33.75	60.00	1024 x 576	1280 x 720	*2
1080i 50 (1125i 50)	-	28.13	50.00	1024 x 576	1280 x 720	*2
480p (525p)	-	31.47	59.94	1024 x 768	1066 x 800	*2
576p (625p)	-	31.25	50.00	1024 x 768	1066 x 800	*2
720p 60 (750p 60)	-	45.00	60.00	1024 x 576	1280 x 720	*2
720p 50 (750p 50)	-	37.50	50.00	1024 x 576	1280 x 720	*2
CGA84	640 x 400	37.86	84.13	1024 x 640	1280 x 800	
CGA85	640 x 400	37.86	85.08	1024 x 640	1280 x 800	
VGA60	640 x 480	31.47	59.94	1024 x 768	1066 x 800	
VGA72	640 x 480	37.86	72.81	1024 x 768	1066 x 800	
VGA75	640 x 480	37.50	75.00	1024 x 768	1066 x 800	
VGA85	640 x 480	43.27	85.01	1024 x 768	1066 x 800	
SVGA56	800 x 600	35.16	56.25	1024 x 768	1066 x 800	
SVGA60	800 x 600	37.88	60.32	1024 x 768	1066 x 800	
SVGA72	800 x 600	48.08	72.19	1024 x 768	1066 x 800	
SVGA75	800 x 600	46.88	75.00	1024 x 768	1066 x 800	
SVGA85	800 x 600	53.67	85.06	1024 x 768	1066 x 800	
XGA60	1024 x 768	48.36	60.00	1024 x 768	1066 x 800	
XGA70	1024 x 768	56.48	70.07	1024 x 768	1066 x 800	
XGA75	1024 x 768	60.02	75.03	1024 x 768	1066 x 800	
XGA85	1024 x 768	68.68	85.00	1024 x 768	1066 x 800	
SXGA70a	1152 x 864	63.85	70.01	1024 x 768	1066 x 800	
SXGA75a	1152 x 864	67.50	75.00	1024 x 768	1066 x 800	
WXGA60	1280 x 768	47.77	59.87	1024 x 614	1280 x 768	*1
WXGA60a	1280 x 800	49.70	59.81	1024 x 640	1280 x 800	*1
WXGA60b	1360 x 768	47.71	60.01	1024 x 578	1280 x 722	*1
WXGA60c	1366 x 768	47.50	59.75	1024 x 575	1280 x 720	*1 *2
SXGA60b	1280 x 960	60.00	60.00	1024 x 768	1066 x 800	
SXGA60	1280 x 1024	63.98	60.02	960 x 768	1000 x 800	
MAC13	640 x 480	35.00	66.67	1024 x 768	1066 x 800	
MAC16	832 x 624	49.72	74.55	1024 x 768	1066 x 800	
MAC19	1024 x 768	60.24	75.02	1016 x 768	1066 x 800	
HP75	1024 x 768	62.94	74.92	1024 x 768	1066 x 800	
SUN66a	1152 x 900	61.85	66.00	984 x 768	1024 x 800	
SUN76a	1152 x 900	71.81	76.64	984 x 768	1024 x 800	

*1　入力信号が WXGA60、WXGA60a、WXGA60b、または WXGA60c の場合、オプションメニューの WXGA にて適切な画面サイズを選択してください。

*2　部分拡大機能には対応していません。

*3　HDMI IN 端子はこれらの信号には対応していません。

- 最大解像度は、LVP-XD600 が 1024 × 768 ドット、LVP-WD620 が 1280 × 800 ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります。(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください。)
- SYNC ON G 対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080i はハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480i, 576i, 480p, 576p の５線(R, G, B, H, V)および４線(R, G, B, CS)出力機器について、本機は対応していません。
- TV60 と TV50 はそれぞれ 480i と 576i と等価です。VIDEO 端子あるいは S-VIDEO 端子から入力された場合、信号表示はTV60あるいはTV50となります。コンポーネント端子から入力された場合、表示は480iあるいは576iとなります。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 保証書は、必ず「お買上げ日･販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から１年間です
但し、光源ランプは１年以内で500時間まで

■補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 光源ランプなどの消耗部品の他に、DMD、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間（毎日６時間以上）ご使用されると、１年未満であっても修理･交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンター（ホームシアターの場合は、お近くの「三菱電機 修理窓口･ご相談窓口」）にご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎ 「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。

- なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

◎ **ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱DLP®プロジェクター
2. 形　　名　LVP-XD600/LVP-WD620
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご　住　所　（付近の目印なども）
6. お名前･電話番号･訪問希望日

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは

全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440（無料）
Tel:075-353-0654
(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)
■受付時間　平日・土日・祝日（弊社指定休日除く）
午前９：00〜12：00/午後１：00〜9：00
FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する**詳細情報**や**応用例**などを、WWWサイトでもご提供しています。
www.mitsubishielectric.co.jp/projector/business

■ 購入、買替えのご相談はこちらへ。
購入･買替え相談窓口
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107（有料）
受付時間 平日 午前9:00〜12:00／午後1:00〜5:30（土日･祝日･弊社指定休日除く）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理･保守･工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質･サービス品質の改善･製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供･開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社･協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせいただきました窓口にご連絡ください。

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが2つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになってそれでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	消灯	電源スタンバイ状態	
赤点灯	緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
緑点灯	緑点灯	電源「入」（通常時）	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
緑点灯 または 赤点灯	オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。
赤点灯	緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回行っても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
緑点灯	赤/緑点滅	ランプ交換表示※1（電源が「入」のとき）	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
赤点灯	赤点滅	ランプ交換表示※1（電源が「切」のとき）	
赤点灯	赤点灯	ランプ交換表示※2	
赤/緑点滅	消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる。
赤/緑点滅	点灯 または 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

※1　約3000時間使用時
　　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2　約4000時間使用時
　　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約3000時間）。

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このDLP®プロジェクターの形名は、LVP-XD600/LVP-WD620です。

愛情点検

● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさいにおいがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

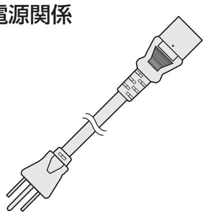
DLP® プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617－8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

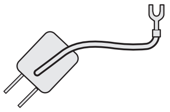
Ver.1

付属品

■電源関係

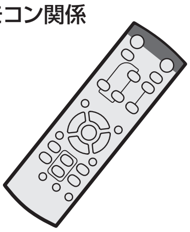


電源コード

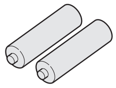


変換アダプタ

■リモコン関係

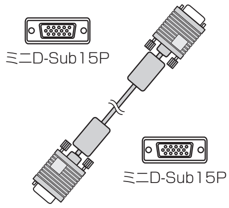


リモコン



単三乾電池(2本)

■映像関係



RGB信号ケーブル

■その他

・レンズキャップ
・ランプ交換用アタッチメント
・CD-ROM
・取扱説明書／クイックスタートアップ
・保証書
・三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
・ソフトキャリングケース

故障かなと思ったら－映像が映らない

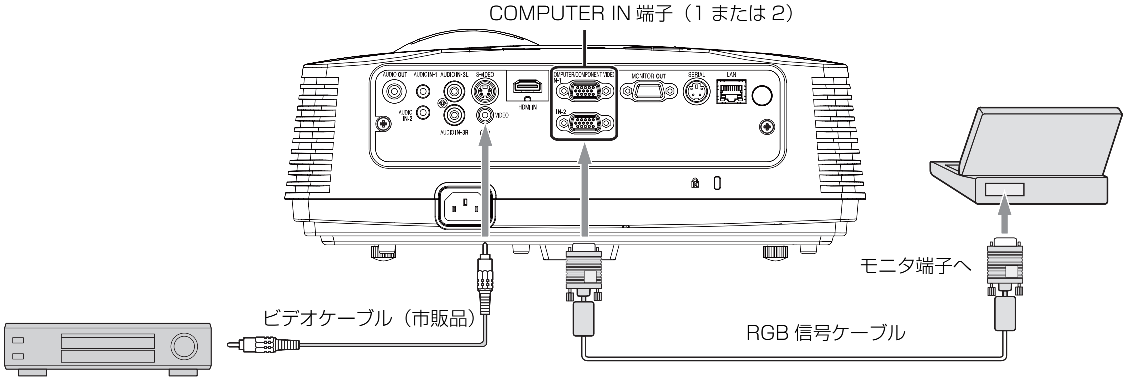
<table>
<tr><th>現象</th><th>確認／処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>○
消灯</td><td>○
消灯</td><td>● 電源コードを本機に接続する。
● 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>○
消灯</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄
オレンジ点滅</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄
緑点滅</td><td>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。
● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。
● 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>● 光源ランプを交換する。（光源ランプの寿命に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⇄
赤/緑点滅</td><td>○
消灯</td><td>● ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>点灯
または
○ ⇄
点滅</td><td>● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● AV MUTE ボタンを押して AV ミュートの設定をはずす。
● ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し換えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器を合わせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
</table>

MITSUBISHI

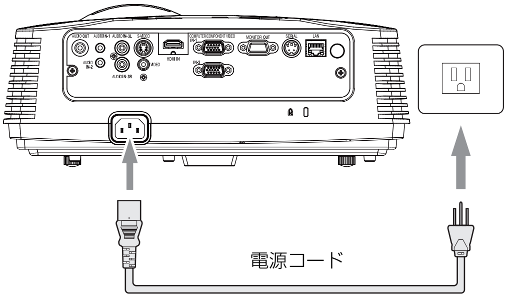
三菱 DLP® プロジェクター　　形名：LVP-XD600/LVP-WD620

クイックスタートアップ

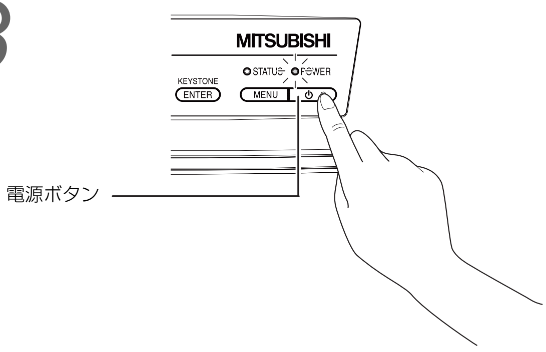
1



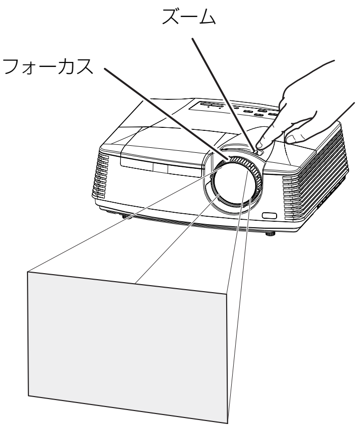
2



3



4



5

ノートタイプのコンピュータの映像が映らないとき

[Fn] キー＋ [F1] ～ [F12] キーのいずれか（機種によって異なる）を押す。

PRINTED IN CHINA